

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型)

－ジャパン・トリプルリターンズ－

日本円・コース (毎月分配型)

豪ドル・コース (毎月分配型)

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

米ドル・コース (毎月分配型)

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式	
信託期間	約10年間 (2013年6月19日～2023年6月8日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	日本円・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラスト・クロッキー・ ジャパン・ストラテジー・ファンド (日本円・クラス)」の受益証券 (円 建) ②ダイワ・マネーストック・マザー ファンドの受益証券
	豪ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラスト・クロッキー・ ジャパン・ストラテジー・ファンド (豪ドル・クラス)」の受益証券 (円 建) ②ダイワ・マネーストック・マザー ファンドの受益証券
	ブラジル・ リアル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラスト・クロッキー・ ジャパン・ストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」の受 益証券 (円建) ②ダイワ・マネーストック・マザー ファンドの受益証券
	米ドル・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラスト・クロッキー・ ジャパン・ストラテジー・ファンド (米ドル・クラス)」の受益証券 (円 建) ②ダイワ・マネーストック・マザー ファンドの受益証券
	通貨セ レクト・コース (毎月分配型)	①ケイマン籍の外国投資信託「オー ジェンタム・トラスト・クロッキー・ ジャパン・ストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)」の受益証 券 (円建) ②ダイワ・マネーストック・マザー ファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。)等とし、原則として、継続 的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定しま す。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を 行わないことがあります。	

運用報告書 (全体版)

第90期 (決算日 2021年1月8日)

第91期 (決算日 2021年2月8日)

第92期 (決算日 2021年3月8日)

第93期 (決算日 2021年4月8日)

第94期 (決算日 2021年5月10日)

第95期 (決算日 2021年6月8日)

(作成対象期間 2020年12月9日～2021年6月8日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
上げます。

当ファンドは、割安と判断される日本の株
式とオプション取引を組み合わせたカバード
コール戦略を構築し、信託財産の成長をめざ
しております。当作成期につきましてもそれ
に沿った運用を行ないました。ここに、運用
状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5765>

<5766>

<5767>

<5768>

<5769>

日本円・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			T O P I X		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期騰落率	(参考指数)	期騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
66期末(2019年1月8日)	7,451	60	△ 5.6	13,922	△ 6.7	—	99.0	2,960
67期末(2019年2月8日)	7,707	60	4.2	14,442	3.7	—	98.9	3,011
68期末(2019年3月8日)	7,683	60	0.5	14,743	2.1	0.0	98.5	2,927
69期末(2019年4月8日)	7,984	60	4.7	14,965	1.5	—	98.8	2,977
70期末(2019年5月8日)	7,750	60	△ 2.2	14,726	△ 1.6	—	99.3	2,848
71期末(2019年6月10日)	7,393	60	△ 3.8	14,105	△ 4.2	—	98.9	2,621
72期末(2019年7月8日)	7,697	60	4.9	14,659	3.9	—	98.6	2,701
73期末(2019年8月8日)	7,213	60	△ 5.5	13,806	△ 5.8	—	98.9	2,504
74期末(2019年9月9日)	7,409	60	3.5	14,149	2.5	—	99.3	2,513
75期末(2019年10月8日)	7,384	60	0.5	14,477	2.3	—	98.5	2,492
76期末(2019年11月8日)	7,933	60	8.2	15,631	8.0	—	96.9	2,593
77期末(2019年12月9日)	7,898	60	0.3	15,771	0.9	—	97.7	2,553
78期末(2020年1月8日)	7,911	60	0.9	15,879	0.7	—	98.9	2,497
79期末(2020年2月10日)	7,851	60	0.0	15,944	0.4	—	99.3	2,441
80期末(2020年3月9日)	6,726	60	△ 13.6	13,544	△ 15.0	—	99.6	1,981
81期末(2020年4月8日)	6,339	60	△ 4.9	12,916	△ 4.6	—	99.2	1,862
82期末(2020年5月8日)	6,359	60	1.3	13,133	1.7	—	99.6	1,821
83期末(2020年6月8日)	7,023	60	11.4	14,842	13.0	—	98.9	2,007
84期末(2020年7月8日)	6,892	60	△ 1.0	14,467	△ 2.5	—	99.0	1,886
85期末(2020年8月11日)	6,710	60	△ 1.8	14,237	△ 1.6	—	98.1	1,810
86期末(2020年9月8日)	6,935	60	4.2	14,817	4.1	—	98.1	1,817
87期末(2020年10月8日)	6,883	60	0.1	15,155	2.3	—	98.1	1,788
88期末(2020年11月9日)	6,831	60	0.1	15,266	0.7	—	98.1	1,759
89期末(2020年12月8日)	7,070	60	4.4	16,207	6.2	—	99.4	1,723
90期末(2021年1月8日)	7,277	60	3.8	16,811	3.7	—	99.4	1,792
91期末(2021年2月8日)	7,400	60	2.5	17,406	3.5	—	99.4	1,537
92期末(2021年3月8日)	7,286	60	△ 0.7	17,454	0.3	—	98.8	1,447
93期末(2021年4月8日)	7,491	60	3.6	18,110	3.8	—	98.4	1,478
94期末(2021年5月10日)	7,348	60	△ 1.1	17,793	△ 1.7	—	99.1	1,426
95期末(2021年6月8日)	7,411	60	1.7	18,049	1.4	—	98.9	1,421

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) T O P I Xは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

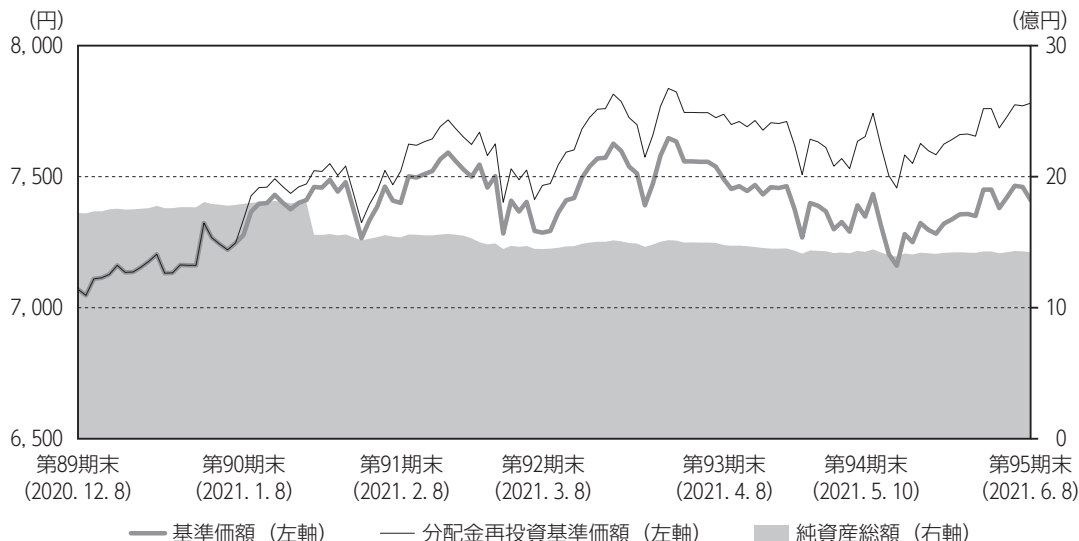
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第90期首：7,070円

第95期末：7,411円（既払分配金360円）

騰落率：10.1%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用の結果、基準価額は上昇しました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことがプラス要因となりました。また、オプション取引についてはマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
第90期	(期首) 2020年12月 8 日	円 7,070	% —	16,207	% —	% —	% 99.4
	12月末	7,323	3.6	16,745	3.3	—	98.4
	(期末) 2021年 1 月 8 日	7,337	3.8	16,811	3.7	—	99.4
第91期	(期首) 2021年 1 月 8 日	7,277	—	16,811	—	—	99.4
	1 月末	7,374	1.3	16,926	0.7	—	98.2
	(期末) 2021年 2 月 8 日	7,460	2.5	17,406	3.5	—	99.4
第92期	(期首) 2021年 2 月 8 日	7,400	—	17,406	—	—	99.4
	2 月末	7,502	1.4	17,730	1.9	—	98.0
	(期末) 2021年 3 月 8 日	7,346	△ 0.7	17,454	0.3	—	98.8
第93期	(期首) 2021年 3 月 8 日	7,286	—	17,454	—	—	98.8
	3 月末	7,634	4.8	18,206	4.3	—	99.2
	(期末) 2021年 4 月 8 日	7,551	3.6	18,110	3.8	—	98.4
第94期	(期首) 2021年 4 月 8 日	7,491	—	18,110	—	—	98.4
	4 月末	7,327	△ 2.2	17,572	△ 3.0	—	98.2
	(期末) 2021年 5 月10日	7,408	△ 1.1	17,793	△ 1.7	—	99.1
第95期	(期首) 2021年 5 月10日	7,348	—	17,793	—	—	99.1
	5 月末	7,451	1.4	17,926	0.7	—	98.0
	(期末) 2021年 6 月 8 日	7,471	1.7	18,049	1.4	—	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020.12.9～2021.6.8）

国内株式市況

国内株式市場は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首から2021年3月にかけて、米国の追加経済対策や世界的な新型コロナウイルスワクチンの普及、経済正常化期待などを受けて上昇しました。しかし4月は、国内でのウイルス感染再拡大から「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言の発令が行われ、株式市場は下落しました。5月半ばには、国内でのワクチン普及の遅れや米国のインフレ懸念から下落する局面もあったものの、その後はワクチン接種加速への期待感やインフレ懸念の後退を受けて上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も、クロッキーファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（日本円・クラス）：オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

クロッキーファンド（日本円・クラス）

主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。

- ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
- ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
- ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
- ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2020.12.9～2021.6.8）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■クロッキーファンド（日本円・クラス）

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、株式ポートフォリオ（配当除く）はTOPIX指数（配当除く）を下回るパフォーマンスとなりました。一方、オプション取引はマイナス要因となりました。

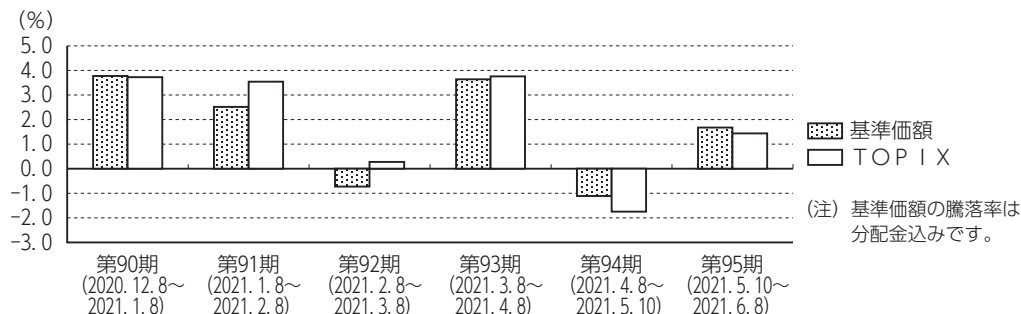
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2020年12月9日 ～2021年1月8日	2021年1月9日 ～2021年2月8日	2021年2月9日 ～2021年3月8日	2021年3月9日 ～2021年4月8日	2021年4月9日 ～2021年5月10日	2021年5月11日 ～2021年6月8日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	0.82	0.80	0.82	0.79	0.81	0.80
当期の収益 (円)	54	57	54	60	60	56
当期の収益以外 (円)	5	2	5	—	—	3
翌期繰越分配対象額 (円)	1,429	1,426	1,421	1,421	1,422	1,419

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 54.50円	✓ 57.12円	✓ 54.81円	✓ 60.10円	✓ 61.17円	✓ 56.24円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	521.81	522.99	524.53	528.42	530.50	531.71
(d) 分配準備積立金	✓ 913.12	✓ 906.47	✓ 902.08	893.01	891.08	✓ 891.06
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,489.45	1,486.59	1,481.43	1,481.55	1,482.77	1,479.02
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,429.45	1,426.59	1,421.43	1,421.55	1,422.77	1,419.02

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、クロッキーファンド (日本円・クラス) とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド (日本円・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーファンド (日本円・クラス)

主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。

- ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
- ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
- ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
- ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第90期～第95期 (2020. 12. 9～2021. 6. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	55円	0. 742%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7, 384円です。
(投 信 会 社)	(19)	(0. 263)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0. 466)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	55	0. 746	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

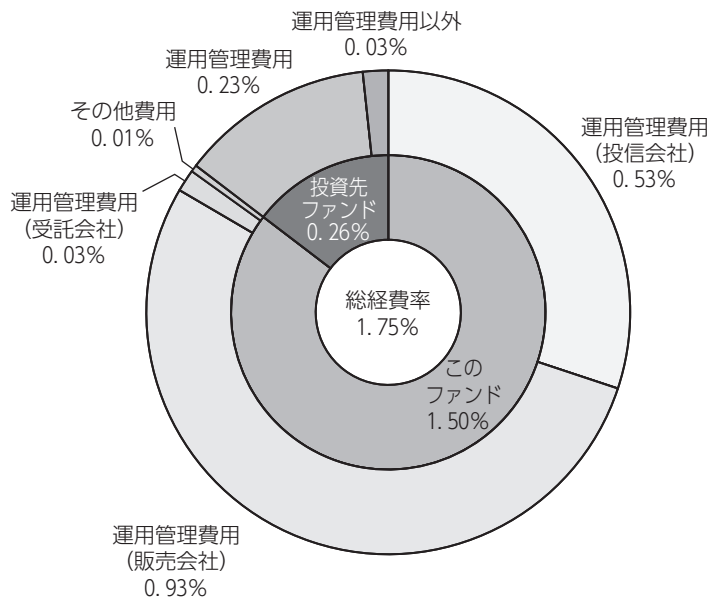
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.75%
①このファンドの費用の比率	1.50%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2020年12月9日から2021年6月8日まで)

決算期	第 90 期 ~ 第 95 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 1,158,214,853	千円 78,877	千口 6,913,656,444	千円 476,800

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2020年12月9日から2021年6月8日まで)

第 90 期 ~				第 95 期			
買 付		平均単価		売 付		平均単価	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	CROCI JAPAN STRATEGY FUND JPY CLASS (ケイマン諸島)	千口 6,913,656,444	千円 476,800	円 68

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 95 期 末		
	口 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND JPY CLASS	千口 20,383,916,549	千円 1,405,634	% 98.9

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第89期末	第 95 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 398	千口 398	千円 399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年6月8日現在

項 目	第 95 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,405,634	% 97.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	29,027	2.1
投資信託財産総額	1,435,061	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ - 日本円・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年1月8日)、(2021年2月8日)、(2021年3月8日)、(2021年4月8日)、(2021年5月10日)、(2021年6月8日)現在

項目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A) 資産	1,851,943,464円	1,555,480,321円	1,461,641,620円	1,498,513,530円	1,440,977,220円	1,435,061,171円
コール・ローン等	30,058,893	26,605,829	30,260,713	43,139,028	27,288,121	29,027,932
投資信託受益証券 (評価額)	1,781,485,409	1,528,475,330	1,430,981,745	1,454,975,380	1,413,289,977	1,405,634,117
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	399,162	399,162	399,162	399,122	399,122	399,122
未収入金	40,000,000	—	—	—	—	—
(B) 負債	59,824,711	18,382,662	13,698,695	20,273,183	14,752,825	13,253,772
未払金	40,000,000	—	—	—	—	—
未払収益分配金	14,776,084	12,463,178	11,923,703	11,839,367	11,646,193	11,510,967
未払解約金	2,801,805	3,792,355	7,345	6,504,242	1,168,950	—
未払信託報酬	2,234,469	2,103,148	1,734,082	1,885,560	1,883,259	1,679,137
その他未払費用	12,353	23,981	33,565	44,014	54,423	63,668
(C) 純資産総額 (A - B)	1,792,118,753	1,537,097,659	1,447,942,925	1,478,240,347	1,426,224,395	1,421,807,399
元本	2,462,680,747	2,077,196,373	1,987,283,884	1,973,227,977	1,941,032,258	1,918,494,588
次期繰越損益金	△ 670,561,994	△ 540,098,714	△ 539,340,959	△ 494,987,630	△ 514,807,863	△ 496,687,189
(D) 受益権総口数	2,462,680,747口	2,077,196,373口	1,987,283,884口	1,973,227,977口	1,941,032,258口	1,918,494,588口
1万口当り基準価額 (C/D)	7,277円	7,400円	7,286円	7,491円	7,348円	7,411円

* 第89期末における元本額は2,437,333,523円、当作成期間 (第90期～第95期) 中における追加設定元本額は64,517,005円、同解約元本額は583,355,940円です。

* 第95期末の計算口数当りの純資産額は7,411円です。

* 第95期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は496,687,189円です。

■損益の状況

第90期 自 2020年12月9日 至 2021年1月8日 第92期 自 2021年2月9日 至 2021年3月8日 第94期 自 2021年4月9日 至 2021年5月10日

第91期 自 2021年1月9日 至 2021年2月8日 第93期 自 2021年3月9日 至 2021年4月8日 第95期 自 2021年5月11日 至 2021年6月8日

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配当等収益	13,883,345円	12,527,050円	12,637,129円	12,290,269円	13,767,519円	11,560,441円
受取配当金	13,883,949	12,527,598	12,637,718	12,290,517	13,767,907	11,560,837
受取利息	34	15	8	—	2	—
支払利息	△ 638	△ 563	△ 597	△ 248	△ 390	△ 396
(B) 有価証券売買損益	53,933,862	27,546,342	△ 21,601,071	41,894,825	△ 28,107,212	13,782,139
売買益	54,039,787	29,600,461	1,144,703	42,151,210	299,258	13,726,124
売買損	△ 105,925	△ 2,054,119	△ 22,745,774	△ 256,385	△ 28,406,470	56,015
(C) 信託報酬等	△ 2,246,822	△ 2,114,776	△ 1,743,666	△ 1,896,009	△ 1,893,668	△ 1,688,413
(D) 当期損益金 (A + B + C)	65,570,385	37,958,616	△ 10,707,608	52,289,085	△ 16,233,361	23,654,167
(E) 前期繰越損益金	△ 644,528,482	△ 500,155,700	△ 453,354,981	△ 470,572,618	△ 422,139,554	△ 444,197,261
(F) 追加信託差損益金	△ 76,827,813	△ 65,438,452	△ 63,354,667	△ 64,864,730	△ 64,788,755	△ 64,633,128
(配当等相当額)	(128,506,538)	(108,635,707)	(104,239,274)	(104,270,870)	(102,973,667)	(102,009,189)
(売買損益相当額)	(△ 205,334,351)	(△ 174,074,159)	(△ 167,593,941)	(△ 169,135,600)	(△ 167,762,422)	(△ 166,642,317)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 655,785,910	△ 527,635,536	△ 527,417,256	△ 483,148,263	△ 503,161,670	△ 485,176,222
(H) 収益分配金	△ 14,776,084	△ 12,463,178	△ 11,923,703	△ 11,839,367	△ 11,646,193	△ 11,510,967
次期繰越損益金 (G + H)	△ 670,561,994	△ 540,098,714	△ 539,340,959	△ 494,987,630	△ 514,807,863	△ 496,687,189
追加信託差損益金	△ 76,827,813	△ 65,438,452	△ 63,354,667	△ 64,864,730	△ 64,788,755	△ 64,633,128
(配当等相当額)	(128,506,538)	(108,635,707)	(104,239,274)	(104,270,870)	(102,973,667)	(102,009,189)
(売買損益相当額)	(△ 205,334,351)	(△ 174,074,159)	(△ 167,593,941)	(△ 169,135,600)	(△ 167,762,422)	(△ 166,642,317)
分配準備積立金	223,521,954	187,695,436	178,240,423	176,234,073	173,190,716	170,229,380
繰越損益金	△ 817,256,135	△ 662,355,698	△ 654,226,715	△ 606,356,973	△ 623,209,824	△ 602,283,441

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,423,414円	11,865,970円	10,893,461円	11,860,251円	11,873,848円	10,790,181円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	128,506,538	108,635,707	104,239,274	104,270,870	102,973,667	102,009,189
(d) 分配準備積立金	224,874,624	188,292,644	179,270,665	176,213,189	172,963,061	170,950,166
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	366,804,576	308,794,321	294,403,400	292,344,310	287,810,576	283,749,536
(f) 分配金	14,776,084	12,463,178	11,923,703	11,839,367	11,646,193	11,510,967
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	352,028,492	296,331,143	282,479,697	280,504,943	276,164,383	272,238,569
(h) 受益権総口数	2,462,680,747口	2,077,196,373口	1,987,283,884口	1,973,227,977口	1,941,032,258口	1,918,494,588口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
		60円	60円	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

豪ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			TOPIX		豪ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
66期末(2019年1月8日)	5,344	80	△ 10.2	13,922	△ 6.7	77.71	△ 4.1	—	98.4	639
67期末(2019年2月8日)	5,540	80	5.2	14,442	3.7	77.63	△ 0.1	—	98.5	650
68期末(2019年3月8日)	5,543	50	1.0	14,743	2.1	78.26	0.8	0.0	98.6	642
69期末(2019年4月8日)	5,819	50	5.9	14,965	1.5	79.07	1.0	—	98.5	659
70期末(2019年5月8日)	5,509	50	△ 4.5	14,726	△ 1.6	77.27	△ 2.3	—	98.5	589
71期末(2019年6月10日)	5,135	50	△ 5.9	14,105	△ 4.2	75.84	△ 1.9	—	98.5	473
72期末(2019年7月8日)	5,331	50	△ 4.8	14,659	3.9	75.75	△ 0.1	—	99.3	471
73期末(2019年8月8日)	4,707	50	△ 10.8	13,806	△ 5.8	71.70	△ 5.3	—	98.3	408
74期末(2019年9月9日)	4,938	50	6.0	14,149	2.5	73.15	2.0	—	98.4	426
75期末(2019年10月8日)	4,840	50	△ 1.0	14,477	2.3	72.29	△ 1.2	—	98.5	402
76期末(2019年11月8日)	5,408	50	12.8	15,631	8.0	75.34	4.2	—	97.1	436
77期末(2019年12月9日)	5,302	50	△ 1.0	15,771	0.9	74.21	△ 1.5	—	98.9	401
78期末(2020年1月8日)	5,326	50	1.4	15,879	0.7	73.93	△ 0.4	—	98.6	391
79期末(2020年2月10日)	5,188	50	△ 1.7	15,944	0.4	73.27	△ 0.9	—	98.7	379
80期末(2020年3月9日)	4,212	50	△ 17.8	13,544	△ 15.0	67.44	△ 8.0	—	98.4	305
81期末(2020年4月8日)	3,798	50	△ 8.6	12,916	△ 4.6	66.72	△ 1.1	—	98.4	275
82期末(2020年5月8日)	3,868	50	3.2	13,133	1.7	69.42	4.0	—	99.2	281
83期末(2020年6月8日)	4,705	50	22.9	14,842	13.0	76.45	10.1	—	98.9	338
84期末(2020年7月8日)	4,509	50	△ 3.1	14,467	△ 2.5	74.65	△ 2.4	—	99.4	323
85期末(2020年8月11日)	4,418	50	△ 0.9	14,237	△ 1.6	75.86	1.6	—	98.7	314
86期末(2020年9月8日)	4,607	50	5.4	14,817	4.1	77.38	2.0	—	99.7	328
87期末(2020年10月8日)	4,478	50	△ 1.7	15,155	2.3	75.63	△ 2.3	—	98.0	319
88期末(2020年11月9日)	4,400	50	△ 0.6	15,266	0.7	75.15	△ 0.6	—	98.1	311
89期末(2020年12月8日)	4,671	50	7.3	16,207	6.2	77.16	2.7	—	98.1	326
90期末(2021年1月8日)	4,950	50	7.0	16,811	3.7	80.54	4.4	—	99.1	346
91期末(2021年2月8日)	5,019	50	2.4	17,406	3.5	80.95	0.5	—	99.4	344
92期末(2021年3月8日)	5,064	50	1.9	17,454	0.3	83.57	3.2	—	98.0	337
93期末(2021年4月8日)	5,226	50	4.2	18,110	3.8	83.64	0.1	—	98.0	343
94期末(2021年5月10日)	5,200	50	0.5	17,793	△ 1.7	85.44	2.2	—	98.1	338
95期末(2021年6月8日)	5,199	50	0.9	18,049	1.4	84.83	△ 0.7	—	99.0	338

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) TOPIXは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

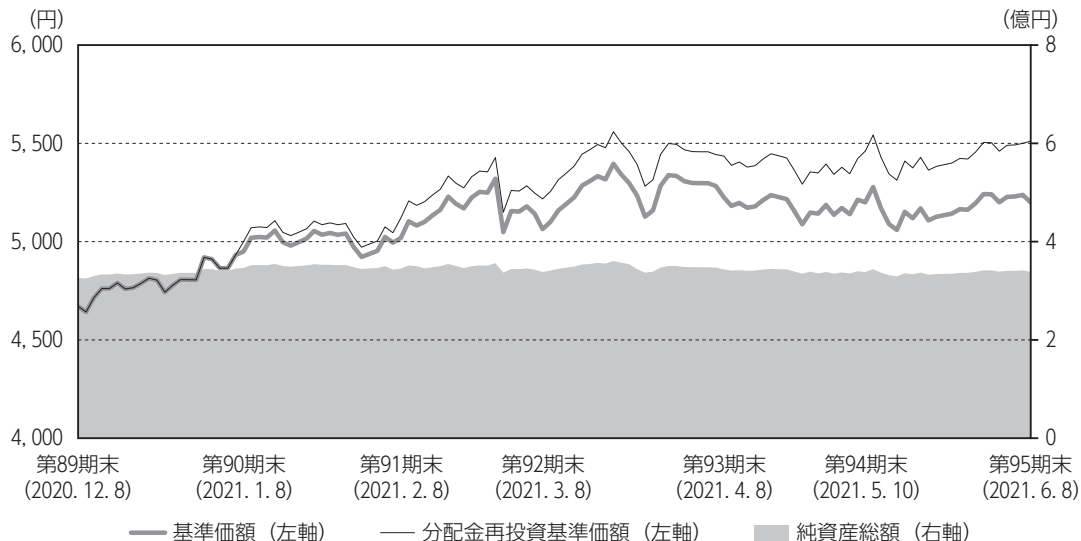
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第90期首：4,671円

第95期末：5,199円（既払分配金300円）

騰落率：18.0%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用と為替取引の結果、基準価額は上昇しました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことがプラス要因となりました。また、オプション取引についてはマイナス要因となりました。為替取引（日本円売り／豪ドル買い）は、円安が進行したことがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	円	騰落率 %		
第90期	(期首) 2020年12月 8日	4,671	—	16,207	—	77.16	—	—	98.1
	12月末	4,920	5.3	16,745	3.3	78.84	2.2	—	98.0
	(期末) 2021年 1月 8日	5,000	7.0	16,811	3.7	80.54	4.4	—	99.1
第91期	(期首) 2021年 1月 8日	4,950	—	16,811	—	80.54	—	—	99.1
	1月末	4,972	0.4	16,926	0.7	80.08	△ 0.6	—	99.2
	(期末) 2021年 2月 8日	5,069	2.4	17,406	3.5	80.95	0.5	—	99.4
第92期	(期首) 2021年 2月 8日	5,019	—	17,406	—	80.95	—	—	99.4
	2月末	5,320	6.0	17,730	1.9	83.31	2.9	—	99.4
	(期末) 2021年 3月 8日	5,114	1.9	17,454	0.3	83.57	3.2	—	98.0
第93期	(期首) 2021年 3月 8日	5,064	—	17,454	—	83.57	—	—	98.0
	3月末	5,334	5.3	18,206	4.3	84.36	0.9	—	99.8
	(期末) 2021年 4月 8日	5,276	4.2	18,110	3.8	83.64	0.1	—	98.0
第94期	(期首) 2021年 4月 8日	5,226	—	18,110	—	83.64	—	—	98.0
	4月末	5,171	△ 1.1	17,572	△ 3.0	84.75	1.3	—	98.8
	(期末) 2021年 5月10日	5,250	0.5	17,793	△ 1.7	85.44	2.2	—	98.1
第95期	(期首) 2021年 5月10日	5,200	—	17,793	—	85.44	—	—	98.1
	5月末	5,242	0.8	17,926	0.7	84.58	△ 1.0	—	98.0
	(期末) 2021年 6月 8日	5,249	0.9	18,049	1.4	84.83	△ 0.7	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020.12.9～2021.6.8）

国内株式市況

国内株式市場は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首から2021年3月にかけて、米国の追加経済対策や世界的な新型コロナウイルスワクチンの普及、経済正常化期待などを受けて上昇しました。しかし4月は、国内でのウイルス感染再拡大から「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言の発令が行われ、株式市場は下落しました。5月半ばには、国内でのワクチン普及の遅れや米国のインフレ懸念から下落する局面もあったものの、その後はワクチン接種加速への期待感やインフレ懸念の後退を受けて上昇しました。

為替相場

豪ドルは対円で上昇（円安）しました。

当作成期首より、世界的なリスク選好姿勢の高まりや好調なオーストラリアの雇用統計が好感されたことから、豪ドルは対円で上昇しました。また2021年2、3月にも、世界的な景気回復期待や資源価格の上昇、オーストラリア経済史上初の2四半期連続の3%成長などが好感され、豪ドルは対円で上昇しました。4、5月は、資源価格の変動や米国の経済指標に左右される展開となり、豪ドルは対円でほぼ横ばいで推移しました。

短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、RBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利を0.10%で据え置きました。一方、日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、低位で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（豪ドル・クラス）：オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

■クロッキーファンド（豪ドル・クラス）

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - ・投資対象銘柄は「TOP I X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。

日本円売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.12.9～2021.6.8)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■クロッキーファンド（豪ドル・クラス）

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、株式ポートフォリオ（配当除く）はTOP I X指数（配当除く）を下回るパフォーマンスとなりました。一方、オプション取引についてはマイナス要因となりました。

円建ての資産に対して、日本円売り／豪ドル買いの為替取引を行いました。

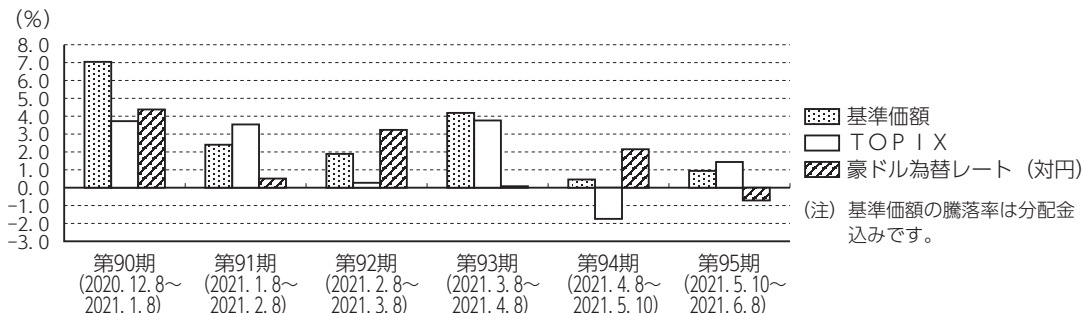
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第90期 2020年12月9日 ～2021年1月8日	第91期 2021年1月9日 ～2021年2月8日	第92期 2021年2月9日 ～2021年3月8日	第93期 2021年3月9日 ～2021年4月8日	第94期 2021年4月9日 ～2021年5月10日	第95期 2021年5月11日 ～2021年6月8日
当期分配金(税込み) (円)	50	50	50	50	50	50
対基準価額比率 (%)	1.00	0.99	0.98	0.95	0.95	0.95
当期の収益 (円)	36	38	39	41	43	37
当期の収益以外 (円)	13	11	10	8	6	12
翌期繰越分配対象額 (円)	1,220	1,209	1,198	1,190	1,184	1,171

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 36.21円	✓ 38.31円	✓ 39.70円	✓ 41.76円	✓ 43.31円	✓ 37.10円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	824.37	825.31	826.31	827.26	828.08	828.84
(d) 分配準備積立金	✓ 410.29	✓ 395.56	✓ 382.89	✓ 371.65	✓ 362.60	✓ 355.17
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,270.87	1,259.19	1,248.90	1,240.68	1,234.00	1,221.11
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,220.87	1,209.19	1,198.90	1,190.68	1,184.00	1,171.11

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーファンド（豪ドル・クラス）

- 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - 投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - 選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - 個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
- 為替取引を活用します。

日本円売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第90期～第95期 (2020.12.9～2021.6.8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	38円	0.741%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,100円です。
（投 信 会 社）	(13)	(0.263)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(24)	(0.465)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	38	0.745	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

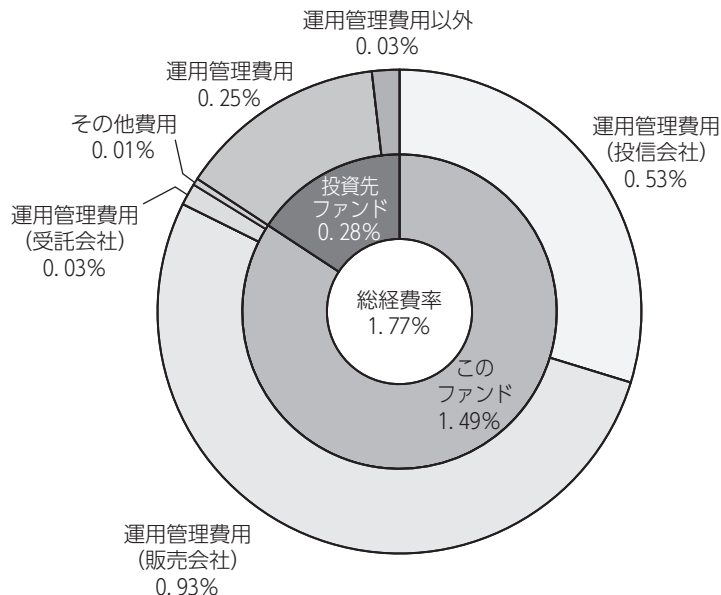
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.77%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.25%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年12月9日から2021年6月8日まで)

決算期	第 90 期 ~ 第 95 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 318,941,793	千円 17,131	千口 806,778,599	千円 43,900

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年12月9日から2021年6月8日まで)

第 90 期 ~				第 95 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	CROCI JAPAN STRATEGY FUND AUD CLASS (ケイマン諸島)	千口 806,778,599	千円 43,900	円 54

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 95 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND AUD CLASS	千口 6,032,132,023	千円 335,175	% 99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第89期末	第 95 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 99	千口 99	千円 99

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年6月8日現在

項 目	第 95 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 335,175	% 97.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	7,116	2.1
投資信託財産総額	342,391	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年1月8日)、(2021年2月8日)、(2021年3月8日)、(2021年4月8日)、(2021年5月10日)、(2021年6月8日)現在

項目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A) 資産	350,458,071円	354,823,606円	341,719,927円	347,031,180円	349,651,488円	342,391,318円
コール・ローン等	7,096,204	12,006,335	10,283,595	10,505,682	4,362,460	7,116,123
投資信託受益証券 (評価額)	343,262,077	342,717,481	331,336,542	336,425,718	331,589,249	335,175,415
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	99,790	99,790	99,790	99,780	99,780	99,780
未収入金	—	—	—	—	13,599,999	—
(B) 負債	4,089,722	9,932,990	3,741,821	3,735,439	11,504,511	3,670,324
未払金	—	—	—	—	6,800,000	—
未払収益分配金	3,498,343	3,435,793	3,336,775	3,284,496	3,251,238	3,257,463
未払解約金	162,988	6,049,779	153	52	997,734	156
未払信託報酬	426,048	442,638	397,920	441,489	443,698	398,671
その他未払費用	2,343	4,780	6,973	9,402	11,841	14,034
(C) 純資産総額 (A - B)	346,368,349	344,890,616	337,978,106	343,295,741	338,146,977	338,720,994
元本	699,668,692	687,158,654	667,355,103	656,899,366	650,247,786	651,492,717
次期繰越損益金	△ 353,300,343	△ 342,268,038	△ 329,376,997	△ 313,603,625	△ 312,100,809	△ 312,771,723
(D) 受益権総口数	699,668,692口	687,158,654口	667,355,103口	656,899,366口	650,247,786口	651,492,717口
1万口当り基準価額 (C/D)	4,950円	5,019円	5,064円	5,226円	5,200円	5,199円

*第89期末における元本額は698,145,090円、当作成期間(第90期~第95期)中における追加設定元本額は9,797,712円、同解約元本額は56,450,085円です。

*第95期末の計算口数当りの純資産額は5,199円です。

*第95期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は312,771,723円です。

■損益の状況

第90期 自 2020年12月9日 至 2021年1月8日 第92期 自 2021年2月9日 至 2021年3月8日 第94期 自 2021年4月9日 至 2021年5月10日
 第91期 自 2021年1月9日 至 2021年2月8日 第93期 自 2021年3月9日 至 2021年4月8日 第95期 自 2021年5月11日 至 2021年6月8日

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配当等収益	2,580,703円	2,776,280円	2,816,073円	2,830,912円	3,262,737円	2,721,211円
受取配当金	2,580,872	2,776,324	2,816,133	2,830,997	3,262,818	2,721,375
受取利息	8	1	—	—	—	—
支払利息	△ 177	△ 45	△ 60	△ 85	△ 81	△ 164
(B) 有価証券売買損益	20,861,954	5,819,268	3,944,691	11,503,189	△ 1,236,686	865,544
売買益	20,869,178	5,841,351	4,194,658	11,711,366	87,724	865,327
売買損	△ 7,224	△ 22,083	△ 249,967	△ 208,177	△ 1,324,410	△ 217
(C) 信託報酬等	△ 428,391	△ 445,075	△ 400,113	△ 443,918	△ 446,137	△ 400,866
(D) 当期損益金 (A + B + C)	23,014,266	8,150,473	6,360,651	13,890,183	1,579,914	3,185,889
(E) 前期繰越損益金	△ 322,718,192	△ 297,076,317	△ 283,209,429	△ 275,103,616	△ 261,237,873	△ 262,854,082
(F) 追加信託差損益金	△ 50,098,074	△ 49,906,401	△ 49,191,444	△ 49,105,696	△ 49,191,612	△ 49,846,067
(配当等相当額)	(57,678,817)	(56,712,468)	(55,144,506)	(54,343,107)	(53,846,033)	(53,998,549)
(売買損益相当額)	(△ 107,776,891)	(△ 106,618,869)	(△ 104,335,950)	(△ 103,448,803)	(△ 103,037,645)	(△ 103,844,616)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 349,802,000	△ 338,832,245	△ 326,040,222	△ 310,319,129	△ 308,849,571	△ 309,514,260
(H) 収益分配金	△ 3,498,343	△ 3,435,793	△ 3,336,775	△ 3,284,496	△ 3,251,238	△ 3,257,463
次期繰越損益金 (G + H)	△ 353,300,343	△ 342,268,038	△ 329,376,997	△ 313,603,625	△ 312,100,809	△ 312,771,723
追加信託差損益金	△ 50,098,074	△ 49,906,401	△ 49,191,444	△ 49,105,696	△ 49,191,612	△ 49,846,067
(配当等相当額)	(57,678,817)	(56,712,468)	(55,144,506)	(54,343,107)	(53,846,033)	(53,998,549)
(売買損益相当額)	(△ 107,776,891)	(△ 106,618,869)	(△ 104,335,950)	(△ 103,448,803)	(△ 103,037,645)	(△ 103,844,616)
分配準備積立金	27,741,970	26,378,192	24,865,089	23,872,831	23,143,947	22,298,709
繰越損益金	△ 330,944,239	△ 318,739,829	△ 305,050,642	△ 288,370,760	△ 286,053,144	△ 285,224,365

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,533,537円	2,632,521円	2,649,426円	2,743,238円	2,816,600円	2,417,073円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	57,678,817	56,712,468	55,144,506	54,343,107	53,846,033	53,998,549
(d) 分配準備積立金	28,706,776	27,181,464	25,552,438	24,414,089	23,578,585	23,139,099
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	88,919,130	86,526,453	83,346,370	81,500,434	80,241,218	79,554,721
(f) 分配金	3,498,343	3,435,793	3,336,775	3,284,496	3,251,238	3,257,463
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	85,420,787	83,090,660	80,009,595	78,215,938	76,989,980	76,297,258
(h) 受益権総口数	699,668,692□	687,158,654□	667,355,103□	656,899,366□	650,247,786□	651,492,717□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
		50円	50円	50円	50円	50円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			TOPIX		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
66期末(2019年1月8日)	3,766	70	△ 5.4	13,922	△ 6.7	29.14	1.1	—	99.0	3,953
67期末(2019年2月8日)	3,897	70	5.3	14,442	3.7	29.54	1.4	—	98.3	4,047
68期末(2019年3月8日)	3,796	40	△ 1.6	14,743	2.1	28.77	△ 2.6	0.0	98.7	3,923
69期末(2019年4月8日)	3,961	40	5.4	14,965	1.5	28.77	0.0	—	98.8	3,834
70期末(2019年5月8日)	3,686	40	△ 5.9	14,726	△ 1.6	27.75	△ 3.5	—	99.2	3,372
71期末(2019年6月10日)	3,554	40	△ 2.5	14,105	△ 4.2	27.95	0.7	—	99.2	3,077
72期末(2019年7月8日)	3,748	40	6.6	14,659	3.9	28.40	1.6	—	98.6	3,147
73期末(2019年8月8日)	3,280	40	△ 11.4	13,806	△ 5.8	26.71	△ 6.0	—	98.0	2,746
74期末(2019年9月9日)	3,311	40	2.2	14,149	2.5	26.33	△ 1.4	—	98.7	2,685
75期末(2019年10月8日)	3,295	40	0.7	14,477	2.3	26.14	△ 0.7	—	98.3	2,565
76期末(2019年11月8日)	3,592	40	10.2	15,631	8.0	26.66	2.0	—	96.7	2,683
77期末(2019年12月9日)	3,478	40	△ 2.1	15,771	0.9	26.23	△ 1.6	—	97.3	2,549
78期末(2020年1月8日)	3,543	40	3.0	15,879	0.7	26.52	1.1	—	98.1	2,530
79期末(2020年2月10日)	3,357	40	△ 4.1	15,944	0.4	25.38	△ 4.3	—	99.0	2,308
80期末(2020年3月9日)	2,517	40	△ 23.8	13,544	△ 15.0	22.05	△ 13.1	—	98.2	1,720
81期末(2020年4月8日)	2,116	40	△ 14.3	12,916	△ 4.6	20.80	△ 5.7	—	98.4	1,435
82期末(2020年5月8日)	1,813	40	△ 12.4	13,133	1.7	18.22	△ 12.4	—	99.6	1,218
83期末(2020年6月8日)	2,451	40	37.4	14,842	13.0	22.07	21.1	—	99.3	1,639
84期末(2020年7月8日)	2,182	40	△ 9.3	14,467	△ 2.5	20.00	△ 9.4	—	98.6	1,454
85期末(2020年8月11日)	2,049	25	△ 4.9	14,237	△ 1.6	19.37	△ 3.2	—	98.0	1,367
86期末(2020年9月8日)	2,180	25	7.6	14,817	4.1	20.05	3.5	—	98.0	1,415
87期末(2020年10月8日)	2,030	25	△ 5.7	15,155	2.3	18.90	△ 5.7	—	98.1	1,301
88期末(2020年11月9日)	2,004	25	△ 0.0	15,266	0.7	19.22	1.7	—	98.2	1,280
89期末(2020年12月8日)	2,241	25	13.1	16,207	6.2	20.37	6.0	—	99.8	1,400
90期末(2021年1月8日)	2,173	25	△ 1.9	16,811	3.7	19.22	△ 5.6	—	99.3	1,320
91期末(2021年2月8日)	2,239	25	4.2	17,406	3.5	19.62	2.1	—	98.4	1,337
92期末(2021年3月8日)	2,120	25	△ 4.2	17,454	0.3	19.06	△ 2.9	—	98.1	1,250
93期末(2021年4月8日)	2,244	25	7.0	18,110	3.8	19.5527	2.6	—	98.0	1,290
94期末(2021年5月10日)	2,320	25	4.5	17,793	△ 1.7	20.7642	6.2	—	98.2	1,312
95期末(2021年6月8日)	2,421	25	5.4	18,049	1.4	21.6869	4.4	—	98.0	1,352

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) TOPIXは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

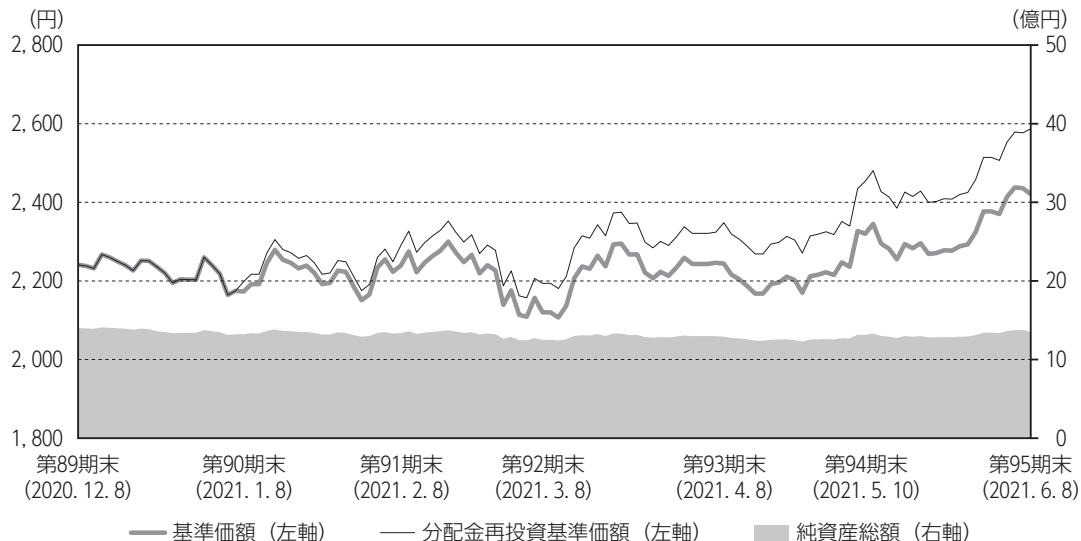
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります(分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第90期首：2,241円

第95期末：2,421円 (既払分配金150円)

騰落率：15.4% (分配金再投資ベース)

■ 基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用と為替取引の結果、基準価額は上昇しました。株式ポートフォリオ(配当込み)が上昇したことはプラス要因となったものの、オプション取引についてはマイナス要因となりました。為替取引(日本円売り/ブラジル・リアル買い)は、ブラジル・リアルが対円で上昇(円安)したことやプレミアム(金利差相当分の収益)がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		ブラジル・リアル 為 替 レ ー ト		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第90期	(期首) 2020年12月 8 日	2,241	—	16,207	—	20.37	—	—	99.8
	12月末	2,260	0.8	16,745	3.3	19.9	△ 2.3	—	98.1
	(期末) 2021年 1 月 8 日	2,198	△ 1.9	16,811	3.7	19.22	△ 5.6	—	99.3
第91期	(期首) 2021年 1 月 8 日	2,173	—	16,811	—	19.22	—	—	99.3
	1 月末	2,186	0.6	16,926	0.7	19.2	△ 0.1	—	98.5
	(期末) 2021年 2 月 8 日	2,264	4.2	17,406	3.5	19.62	2.1	—	98.4
第92期	(期首) 2021年 2 月 8 日	2,239	—	17,406	—	19.62	—	—	98.4
	2 月末	2,227	△ 0.5	17,730	1.9	19.24	△ 1.9	—	99.2
	(期末) 2021年 3 月 8 日	2,145	△ 4.2	17,454	0.3	19.06	△ 2.9	—	98.1
第93期	(期首) 2021年 3 月 8 日	2,120	—	17,454	—	19.06	—	—	98.1
	3 月末	2,234	5.4	18,206	4.3	19.16	0.5	—	98.1
	(期末) 2021年 4 月 8 日	2,269	7.0	18,110	3.8	19.5527	2.6	—	98.0
第94期	(期首) 2021年 4 月 8 日	2,244	—	18,110	—	19.5527	—	—	98.0
	4 月末	2,247	0.1	17,572	△ 3.0	20.4072	4.4	—	99.5
	(期末) 2021年 5 月10日	2,345	4.5	17,793	△ 1.7	20.7642	6.2	—	98.2
第95期	(期首) 2021年 5 月10日	2,320	—	17,793	—	20.7642	—	—	98.2
	5 月末	2,377	2.5	17,926	0.7	21.0085	1.2	—	98.6
	(期末) 2021年 6 月 8 日	2,446	5.4	18,049	1.4	21.6869	4.4	—	98.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020.12.9～2021.6.8）

国内株式市況

国内株式市場は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首から2021年3月にかけて、米国の追加経済対策や世界的な新型コロナウイルスワクチンの普及、経済正常化期待などを受けて上昇しました。しかし4月は、国内でのウイルス感染再拡大から「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言の発令が行われ、株式市場は下落しました。5月半ばには、国内でのワクチン普及の遅れや米国のインフレ懸念から下落する局面もあったものの、その後はワクチン接種加速への期待感やインフレ懸念の後退を受けて上昇しました。

為替相場

ブラジル・リアルは対円で上昇しました。

当作成期首から2021年3月初めにかけてのブラジル・リアルの対円為替相場は、ブラジル国内での新型コロナウイルス感染拡大や連邦政府のワクチン調達の遅れ、米国長期金利上昇による新興国資産からの資金流出を受けて下落しました。3月半ば以降は、ブラジル中央銀行による利上げ観測や連邦政府の構造改革への期待、また世界的な景気回復期待や資源価格の上昇といった要因を反映して、リアルは対円で上昇しました。

短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を2.00%から3.50%に引き上げました。一方、日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、低位で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も、クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）：オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

■クロッキーファンド (ブラジル・レアル・クラス)

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - ・投資対象銘柄は「TOP I X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。
日本円売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.12.9～2021.6.8)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド (ブラジル・レアル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド (ブラジル・レアル・クラス) への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■クロッキーファンド (ブラジル・レアル・クラス)

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、株式ポートフォリオ (配当除く) はTOP I X 指数 (配当除く) を下回るパフォーマンスとなりました。一方、オプション取引についてはマイナス要因となりました。

円建ての資産に対して、日本円売り／ブラジル・レアル買いの為替取引を行いました。

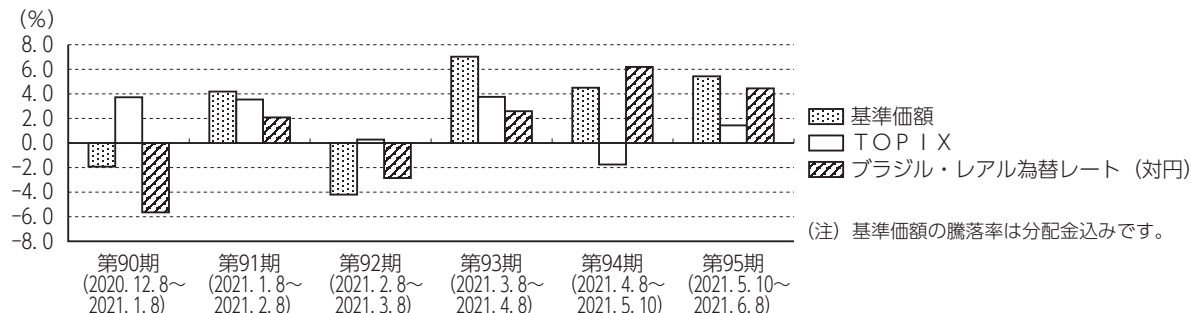
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第90期 2020年12月9日 ～2021年1月8日	第91期 2021年1月9日 ～2021年2月8日	第92期 2021年2月9日 ～2021年3月8日	第93期 2021年3月9日 ～2021年4月8日	第94期 2021年4月9日 ～2021年5月10日	第95期 2021年5月11日 ～2021年6月8日
当期分配金(税込み) (円)	25	25	25	25	25	25
対基準価額比率 (%)	1.14	1.10	1.17	1.10	1.07	1.02
当期の収益 (円)	17	19	18	19	24	21
当期の収益以外 (円)	7	5	6	5	0	3
翌期繰越分配対象額 (円)	1,140	1,135	1,128	1,123	1,122	1,119

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 17.13円	✓ 19.30円	✓ 18.13円	✓ 19.92円	✓ 24.10円	✓ 21.70円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,045.61	1,046.94	1,047.13	1,047.59	1,047.76	1,047.90
(d) 分配準備積立金	✓ 103.15	✓ 94.13	✓ 88.24	✓ 80.97	✓ 75.74	✓ 74.70
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,165.90	1,160.38	1,153.52	1,148.50	1,147.61	1,144.31
(f) 分配金	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,140.90	1,135.38	1,128.52	1,123.50	1,122.61	1,119.31

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーファンド（ブラジル・リアル・クラス）

- 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - 投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - 選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - 個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
- 為替取引を活用します。

日本円売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第90期～第95期 (2020. 12. 9～2021. 6. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	17円	0. 738%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2, 239円です。
(投 信 会 社)	(6)	(0. 261)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0. 464)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	17	0. 741	

(注 1) 当作成期中の費用 (消費税のかかるものは消費税を含む) は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

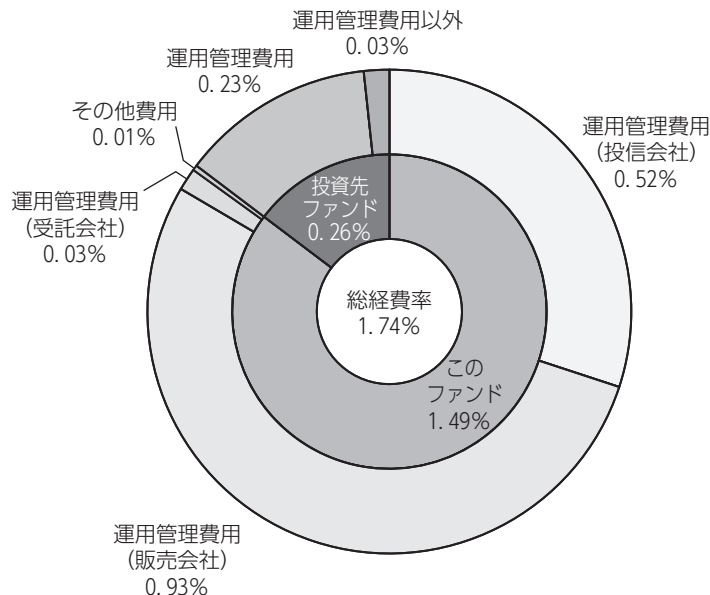
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券 (マザーファンドを除く。) がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.74%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年12月9日から2021年6月8日まで)

決算期	第 90 期 ~ 第 95 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	3,289.002045	74,949	11,749.605411	270,200

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年12月9日から2021年6月8日まで)

第 90 期 ~				第 95 期			
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI JAPAN STRATEGY FUND BRL CLASS (ケイマン諸島)	11,749.605411	270,200	22

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 95 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND BRL CLASS	52,771.405969	1,325,564	98.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第89期末	第 95 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	398	398	399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年6月8日現在

項 目	第 95 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,325,564	95.9
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	55,621	4.1
投資信託財産総額	1,381,585	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年1月8日)、(2021年2月8日)、(2021年3月8日)、(2021年4月8日)、(2021年5月10日)、(2021年6月8日)現在

項目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A) 資産	1,337,357,731円	1,358,431,366円	1,267,390,326円	1,341,541,664円	1,330,024,878円	1,418,685,827円
コール・ローン等	25,768,091	42,097,377	40,710,523	29,136,812	39,812,812	18,521,759
投資信託受益証券 (評価額)	1,311,190,478	1,315,934,827	1,226,280,641	1,265,205,731	1,289,812,944	1,325,564,947
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	399,162	399,162	399,162	399,122	399,122	399,122
未収入金	—	—	—	46,799,999	—	74,199,999
(B) 負債	16,943,021	20,602,669	16,794,126	50,889,718	17,179,866	66,675,170
未払金	—	—	—	23,400,000	—	37,100,000
未払収益分配金	15,190,348	14,934,751	14,746,578	14,375,825	14,149,805	13,959,893
未払解約金	6,633	3,957,323	508,817	11,437,142	1,329,847	14,007,356
未払信託報酬	1,736,448	1,691,656	1,511,439	1,640,331	1,654,651	1,553,835
その他未払費用	9,592	18,939	27,292	36,420	45,563	54,086
(C) 純資産総額 (A - B)	1,320,414,710	1,337,828,697	1,250,596,200	1,290,651,946	1,312,845,012	1,352,010,657
元本	6,076,139,592	5,973,900,410	5,898,631,402	5,750,330,135	5,659,922,114	5,583,957,309
次期繰越損益金	△ 4,755,724,882	△ 4,636,071,713	△ 4,648,035,202	△ 4,459,678,189	△ 4,347,077,102	△ 4,231,946,652
(D) 受益権総口数	6,076,139,592口	5,973,900,410口	5,898,631,402口	5,750,330,135口	5,659,922,114口	5,583,957,309口
1万口当り基準価額 (C/D)	2,173円	2,239円	2,120円	2,244円	2,320円	2,421円

* 第89期末における元本額は6,249,527,333円、当作成期間 (第90期~第95期) 中における追加設定元本額は150,431,480円、同解約元本額は816,001,504円です。

* 第95期末の計算口数当りの純資産額は2,421円です。

* 第95期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,231,946,652円です。

■損益の状況

第90期 自 2020年12月9日 至 2021年1月8日 第92期 自 2021年2月9日 至 2021年3月8日 第94期 自 2021年4月9日 至 2021年5月10日
 第91期 自 2021年1月9日 至 2021年2月8日 第93期 自 2021年3月9日 至 2021年4月8日 第95期 自 2021年5月11日 至 2021年6月8日

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配当等収益	12,157,560円	11,890,494円	12,217,979円	11,680,010円	14,043,709円	12,389,191円
受取配当金	12,158,191	11,890,751	12,218,273	11,680,391	14,043,917	12,389,691
受取利息	37	11	2	5	1	—
支払利息	△ 668	△ 268	△ 296	△ 386	△ 209	△ 500
(B) 有価証券売買損益	△ 36,218,254	44,195,229	△ 66,325,979	75,627,462	44,266,695	59,916,251
売買益	36,496	44,771,934	260,048	77,448,351	44,658,996	60,420,277
売買損	△ 36,254,750	△ 576,705	△ 66,586,027	△ 1,820,889	△ 392,301	△ 504,026
(C) 信託報酬等	△ 1,746,040	△ 1,701,003	△ 1,519,792	△ 1,649,459	△ 1,663,794	△ 1,562,418
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 25,806,734	54,384,720	△ 55,627,792	85,658,013	56,646,610	70,743,024
(E) 前期繰越損益金	△ 3,671,454,142	△ 3,605,577,355	△ 3,513,625,897	△ 3,476,520,994	△ 3,344,494,663	△ 3,251,495,951
(F) 追加信託差損益金	△ 1,043,273,658	△ 1,069,944,327	△ 1,064,034,935	△ 1,054,439,383	△ 1,045,079,244	△ 1,037,233,832
(配当等相当額)	(635,329,610)	(625,435,105)	(617,668,944)	(602,401,485)	(593,025,764)	(585,146,593)
(売買損益相当額)	(△ 1,678,603,268)	(△ 1,695,379,432)	(△ 1,681,703,879)	(△ 1,656,840,868)	(△ 1,638,105,008)	(△ 1,622,380,425)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,740,534,534	△ 4,621,136,962	△ 4,633,288,624	△ 4,445,302,364	△ 4,332,927,297	△ 4,217,986,759
(H) 収益分配金	15,190,348	14,934,751	14,746,578	14,375,825	14,149,805	13,959,893
次期繰越損益金 (G + H)	△ 4,755,724,882	△ 4,636,071,713	△ 4,648,035,202	△ 4,459,678,189	△ 4,347,077,102	△ 4,231,946,652
追加信託差損益金	△ 1,043,273,658	△ 1,069,944,327	△ 1,064,034,935	△ 1,054,439,383	△ 1,045,079,244	△ 1,037,233,832
(配当等相当額)	(635,329,610)	(625,435,105)	(617,668,944)	(602,401,485)	(593,025,764)	(585,146,593)
(売買損益相当額)	(△ 1,678,603,268)	(△ 1,695,379,432)	(△ 1,681,703,879)	(△ 1,656,840,868)	(△ 1,638,105,008)	(△ 1,622,380,425)
分配準備積立金	57,902,578	52,830,807	48,004,624	43,648,514	42,363,151	39,876,885
繰越損益金	△ 3,770,353,802	△ 3,618,958,193	△ 3,632,004,891	△ 3,448,887,320	△ 3,344,361,009	△ 3,234,589,705

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,411,514円	11,529,880円	10,698,185円	11,459,309円	13,643,064円	12,121,543円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	635,329,610	625,435,105	617,668,944	602,401,485	593,025,764	585,146,593
(d) 分配準備積立金	62,681,412	56,235,678	52,053,017	46,565,030	42,869,892	41,715,235
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	708,422,536	693,200,663	680,420,146	660,425,824	649,538,720	638,983,371
(f) 分配金	15,190,348	14,934,751	14,746,578	14,375,825	14,149,805	13,959,893
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	693,232,188	678,265,912	665,673,568	646,049,999	635,388,915	625,023,478
(h) 受益権総口数	6,076,139,592口	5,973,900,410口	5,898,631,402口	5,750,330,135口	5,659,922,114口	5,583,957,309口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
		25円	25円	25円	25円	25円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

米ドル・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			TOPIX		米ドル為替レート		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
66期末(2019年1月8日)	8,657	60	△ 8.9	13,922	△ 6.7	108.79	△ 3.3	—	98.7	3,371
67期末(2019年2月8日)	9,102	60	5.8	14,442	3.7	109.84	1.0	—	98.0	3,443
68期末(2019年3月8日)	9,243	60	2.2	14,743	2.1	111.58	1.6	0.0	98.6	3,442
69期末(2019年4月8日)	9,659	60	5.1	14,965	1.5	111.44	△ 0.1	—	98.9	3,500
70期末(2019年5月8日)	9,294	60	△ 3.2	14,726	△ 1.6	110.19	△ 1.1	—	98.5	3,326
71期末(2019年6月10日)	8,701	60	△ 5.7	14,105	△ 4.2	108.52	△ 1.5	—	99.2	3,026
72期末(2019年7月8日)	9,129	60	5.6	14,659	3.9	108.54	0.0	—	98.4	3,164
73期末(2019年8月8日)	8,358	60	△ 7.8	13,806	△ 5.8	106.11	△ 2.2	—	98.3	2,808
74期末(2019年9月9日)	8,683	60	4.6	14,149	2.5	106.95	0.8	—	98.6	2,820
75期末(2019年10月8日)	8,687	60	0.7	14,477	2.3	107.39	0.4	—	98.8	2,759
76期末(2019年11月8日)	9,564	60	10.8	15,631	8.0	109.39	1.9	—	97.0	2,996
77期末(2019年12月9日)	9,495	60	△ 0.1	15,771	0.9	108.60	△ 0.7	—	97.1	2,941
78期末(2020年1月8日)	9,530	60	1.0	15,879	0.7	107.83	△ 0.7	—	97.9	2,850
79期末(2020年2月10日)	9,585	60	1.2	15,944	0.4	109.67	1.7	—	98.5	2,820
80期末(2020年3月9日)	7,872	60	△ 17.2	13,544	△ 15.0	102.01	△ 7.0	—	99.3	2,275
81期末(2020年4月8日)	7,680	60	△ 1.7	12,916	△ 4.6	108.67	6.5	—	99.0	2,172
82期末(2020年5月8日)	7,542	60	△ 1.0	13,133	1.7	106.36	△ 2.1	—	99.3	2,136
83期末(2020年6月8日)	8,591	60	14.7	14,842	13.0	109.48	2.9	—	99.5	2,403
84期末(2020年7月8日)	8,287	60	△ 2.8	14,467	△ 2.5	107.69	△ 1.6	—	99.0	2,278
85期末(2020年8月11日)	7,952	60	△ 3.3	14,237	△ 1.6	106.17	△ 1.4	—	98.2	2,116
86期末(2020年9月8日)	8,266	60	4.7	14,817	4.1	106.31	0.1	—	98.1	2,170
87期末(2020年10月8日)	8,193	60	△ 0.2	15,155	2.3	106.07	△ 0.2	—	99.1	2,147
88期末(2020年11月9日)	7,940	60	△ 2.4	15,266	0.7	103.35	△ 2.6	—	99.2	2,057
89期末(2020年12月8日)	8,294	60	5.2	16,207	6.2	104.09	0.7	—	99.2	2,109
90期末(2021年1月8日)	8,563	60	4.0	16,811	3.7	103.85	△ 0.2	—	98.0	2,069
91期末(2021年2月8日)	8,835	60	3.9	17,406	3.5	105.54	1.6	—	99.3	2,071
92期末(2021年3月8日)	8,934	60	1.8	17,454	0.3	108.37	2.7	—	99.6	2,062
93期末(2021年4月8日)	9,312	60	4.9	18,110	3.8	109.83	1.3	—	98.8	2,080
94期末(2021年5月10日)	9,053	60	△ 2.1	17,793	△ 1.7	108.77	△ 1.0	—	98.1	2,015
95期末(2021年6月8日)	9,199	60	2.3	18,049	1.4	109.45	0.6	—	99.0	2,008

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) TOPIXは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

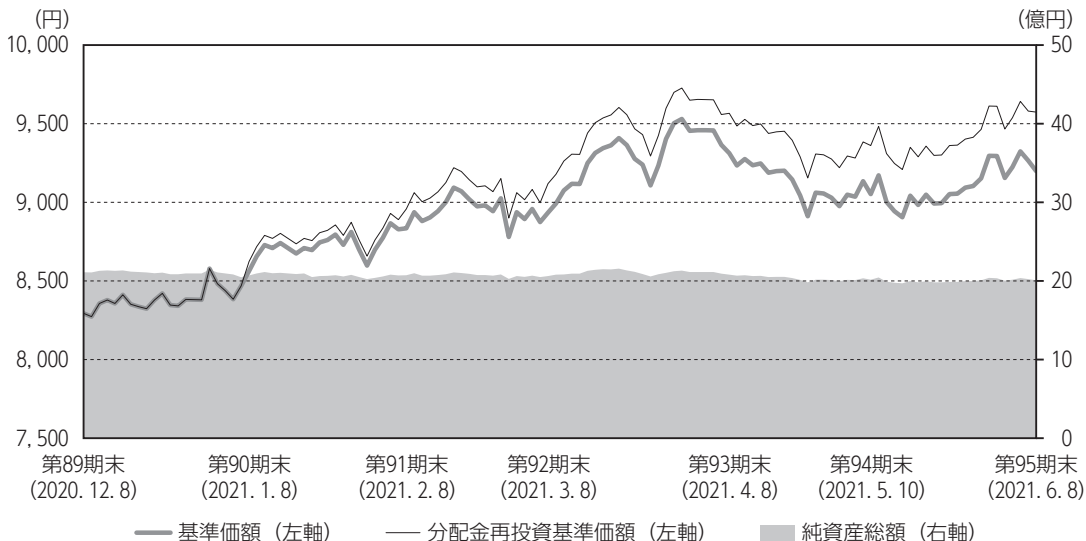
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第90期首：8,294円

第95期末：9,199円（既払分配金360円）

騰落率：15.4%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用と為替取引の結果、基準価額は上昇しました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことはプラス要因となったものの、オプション取引についてはマイナス要因となりました。為替取引（日本円売り／米ドル買い）は、米ドルが対円で上昇（円安）したことやプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		米ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	円	騰落率 %		
第90期	(期首) 2020年12月 8日	8,294	—	16,207	—	104.09	—	—	99.2
	12月末	8,579	3.4	16,745	3.3	103.5	△ 0.6	—	98.3
	(期末) 2021年 1月 8日	8,623	4.0	16,811	3.7	103.85	△ 0.2	—	98.0
第91期	(期首) 2021年 1月 8日	8,563	—	16,811	—	103.85	—	—	98.0
	1月末	8,699	1.6	16,926	0.7	104.48	0.6	—	98.1
	(期末) 2021年 2月 8日	8,895	3.9	17,406	3.5	105.54	1.6	—	99.3
第92期	(期首) 2021年 2月 8日	8,835	—	17,406	—	105.54	—	—	99.3
	2月末	9,026	2.2	17,730	1.9	106.25	0.7	—	98.9
	(期末) 2021年 3月 8日	8,994	1.8	17,454	0.3	108.37	2.7	—	99.6
第93期	(期首) 2021年 3月 8日	8,934	—	17,454	—	108.37	—	—	99.6
	3月末	9,530	6.7	18,206	4.3	110.71	2.2	—	98.1
	(期末) 2021年 4月 8日	9,372	4.9	18,110	3.8	109.83	1.3	—	98.8
第94期	(期首) 2021年 4月 8日	9,312	—	18,110	—	109.83	—	—	98.8
	4月末	9,048	△ 2.8	17,572	△ 3.0	108.93	△ 0.8	—	99.2
	(期末) 2021年 5月10日	9,113	△ 2.1	17,793	△ 1.7	108.77	△ 1.0	—	98.1
第95期	(期首) 2021年 5月10日	9,053	—	17,793	—	108.77	—	—	98.1
	5月末	9,296	2.7	17,926	0.7	109.76	0.9	—	99.6
	(期末) 2021年 6月 8日	9,259	2.3	18,049	1.4	109.45	0.6	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020.12.9～2021.6.8）

国内株式市況

国内株式市場は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首から2021年3月にかけて、米国の追加経済対策や世界的な新型コロナウイルスワクチンの普及、経済正常化期待などを受けて上昇しました。しかし4月は、国内でのウイルス感染再拡大から「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言の発令が行われ、株式市場は下落しました。5月半ばには、国内でのワクチン普及の遅れや米国のインフレ懸念から下落する局面もあったものの、その後はワクチン接種加速への期待感やインフレ懸念の後退を受けて上昇しました。

為替相場

米ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2021年3月にかけての米ドルの対円為替相場は、米国民党政権による大規模な財政政策や新型コロナウイルスのワクチン接種の進展を反映した経済正常化期待、米国長期金利の上昇などを受けて、110円付近まで円安が進みました。しかし4月下旬には、長期金利上昇の一服や世界的な感染再拡大で108円付近まで円高が進行しました。その後は、長期金利上昇の一服を好感したリスク選好姿勢の高まりや日本国内での緊急事態宣言延長といった要因から、再び円安となりました。

短期金利市況

米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）がF O M C（米国連邦公開市場委員会）で政策金利の誘導目標レンジを0.00～0.25%に据え置きました。一方、日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、低位で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

今後も、クロッキーファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド（米ドル・クラス）：オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

■クロッキーファンド (米ドル・クラス)

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - ・投資対象銘柄は「TOP I X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。

日本円売り／米ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.12.9～2021.6.8)

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド (米ドル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■クロッキーファンド (米ドル・クラス)

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、株式ポートフォリオ (配当除く) はTOP I X 指数 (配当除く) を下回るパフォーマンスとなりました。一方、オプション取引についてはマイナス要因となりました。

円建ての資産に対して、日本円売り／米ドル買いの為替取引を行いました。

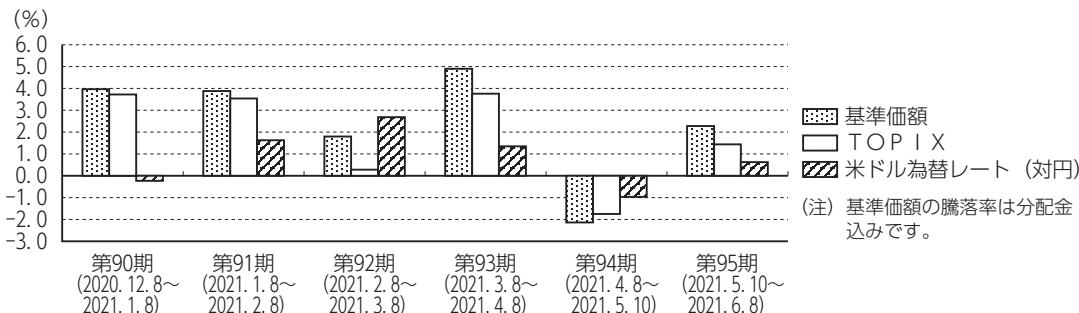
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2020年12月9日 ～2021年1月8日	2021年1月9日 ～2021年2月8日	2021年2月9日 ～2021年3月8日	2021年3月9日 ～2021年4月8日	2021年4月9日 ～2021年5月10日	2021年5月11日 ～2021年6月8日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	60
対基準価額比率 (%)	0.70	0.67	0.67	0.64	0.66	0.65
当期の収益 (円)	60	60	60	60	60	60
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	5,911	5,921	5,931	5,944	5,962	5,973

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 65.76円	✓ 70.52円	✓ 69.24円	✓ 73.06円	✓ 77.91円	✓ 71.29円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,033.50	2,040.80	2,047.18	2,061.67	2,067.57	2,073.90
(d) 分配準備積立金	3,871.99	3,870.47	3,874.61	3,869.37	3,876.54	3,888.13
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	5,971.27	5,981.79	5,991.04	6,004.11	6,022.03	6,033.33
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	5,911.27	5,921.79	5,931.04	5,944.11	5,962.03	5,973.33

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーファンド（米ドル・クラス）

- 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - 投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - 選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - 個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
- 為替取引を活用します。

日本円売り／米ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第90期～第95期 (2020. 12. 9～2021. 6. 8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	66円	0. 742%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8, 937円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0. 263)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0. 466)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	67	0. 746	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

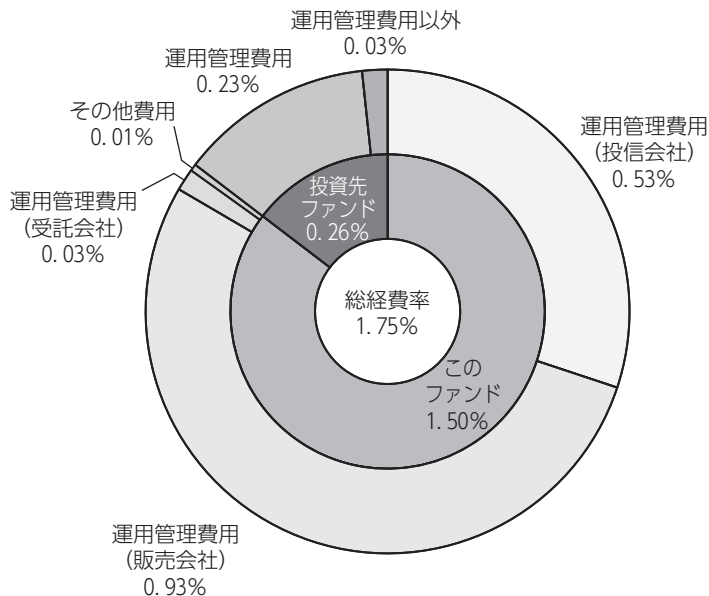
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.75%
①このファンドの費用の比率	1.50%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

(2020年12月9日から2021年6月8日まで)

決算期	第 90 期 ~ 第 95 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 1,487,49751	千円 104,772	千口 5,965,878855	千円 417,600

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2020年12月9日から2021年6月8日まで)

銘 柄	第 90 期 ~			第 95 期		
	買 付			売 付		
	口 数	金 額	平均単価	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円	千口	千円	円
CROCI JAPAN STRATEGY FUND USD CLASS (ケイマン諸島)	5,965.878855	417,600	69			

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 95 期 末		
	口 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND USD CLASS	千口 27,145,907325	千円 1,987,731	% 99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第89期末	第 95 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 398	千口 398	千円 399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年6月8日現在

項 目	第 95 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,987,731	% 98.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	37,382	1.9
投資信託財産総額	2,025,513	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年1月8日)、(2021年2月8日)、(2021年3月8日)、(2021年4月8日)、(2021年5月10日)、(2021年6月8日)現在

項目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A) 資産	2,232,149,114円	2,088,721,117円	2,078,643,084円	2,097,547,246円	2,031,295,909円	2,025,513,850円
コール・ローン等	23,739,299	31,082,908	24,755,509	42,469,069	54,646,022	37,382,811
投資信託受益証券 (評価額)	2,028,010,653	2,057,239,047	2,053,488,413	2,054,679,055	1,976,250,765	1,987,731,917
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	399,162	399,162	399,162	399,122	399,122	399,122
未収入金	180,000,000	—	—	—	—	—
(B) 負債	162,647,134	17,650,633	16,422,308	17,056,884	16,085,825	16,959,801
未払金	90,000,000	—	—	—	—	—
未払収益分配金	14,500,835	14,064,490	13,849,477	13,405,693	13,356,341	13,100,974
未払解約金	55,457,926	933,784	160,196	922,842	1,804	1,402,802
未払信託報酬	2,673,592	2,623,077	2,370,243	2,671,042	2,655,688	2,371,076
その他未払費用	14,781	29,282	42,392	57,307	71,992	84,949
(C) 純資産総額 (A - B)	2,069,501,980	2,071,070,484	2,062,220,776	2,080,490,362	2,015,210,084	2,008,554,049
元本	2,416,805,978	2,344,081,721	2,308,246,272	2,234,282,326	2,226,056,875	2,183,495,804
次期繰越損益金	△ 347,303,998	△ 273,011,237	△ 246,025,496	△ 153,791,964	△ 210,846,791	△ 174,941,755
(D) 受益権総口数	2,416,805,978口	2,344,081,721口	2,308,246,272口	2,234,282,326口	2,226,056,875口	2,183,495,804口
1万口当り基準価額 (C/D)	8,563円	8,835円	8,934円	9,312円	9,053円	9,199円

*第89期末における元本額は2,543,867,641円、当作成期間(第90期~第95期)中における追加設定元本額は32,786,496円、同解約元本額は393,158,333円です。

*第95期末の計算口数当りの純資産額は9,199円です。

*第95期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は174,941,755円です。

■損益の状況

第90期 自 2020年12月9日 至 2021年1月8日 第92期 自 2021年2月9日 至 2021年3月8日 第94期 自 2021年4月9日 至 2021年5月10日
 第91期 自 2021年1月9日 至 2021年2月8日 第93期 自 2021年3月9日 至 2021年4月8日 第95期 自 2021年5月11日 至 2021年6月8日

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配当等収益	16,431,616円	17,090,712円	17,023,016円	16,773,867円	20,014,773円	16,392,050円
受取配当金	16,432,313	17,091,268	17,023,493	16,774,494	20,015,085	16,392,641
受取利息	48	26	3	9	—	—
支払利息	△ 745	△ 582	△ 480	△ 636	△ 312	△ 591
(B) 有価証券売買損益	65,821,450	63,449,517	22,020,130	83,575,714	△ 61,606,356	30,965,211
売買益	66,272,541	64,276,295	22,304,349	85,502,164	102,322	31,179,789
売買損	△ 451,091	△ 826,778	△ 284,219	△ 1,926,450	△ 61,708,678	△ 214,578
(C) 信託報酬等	△ 2,688,373	△ 2,637,578	△ 2,383,353	△ 2,685,957	△ 2,670,373	△ 2,384,182
(D) 当期損益金 (A + B + C)	79,564,693	77,902,651	36,659,793	97,663,624	△ 44,261,956	44,973,079
(E) 前期繰越損益金	△ 588,104,590	△ 506,347,982	△ 435,028,316	△ 397,521,145	△ 311,635,825	△ 361,605,751
(F) 追加信託差損益金	175,736,734	169,498,584	166,192,504	159,471,250	158,407,331	154,791,891
(配当等相当額)	(491,459,681)	(478,380,888)	(472,541,252)	(460,636,239)	(460,254,206)	(452,836,462)
(売買損益相当額)	(△ 315,722,947)	(△ 308,882,304)	(△ 306,348,748)	(△ 301,164,989)	(△ 301,846,875)	(△ 298,044,571)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 332,803,163	△ 258,946,747	△ 232,176,019	△ 140,386,271	△ 197,490,540	△ 161,840,781
(H) 収益分配金	△ 14,500,835	△ 14,064,490	△ 13,849,477	△ 13,405,693	△ 13,356,341	△ 13,100,974
次期繰越損益金 (G + H)	△ 347,303,998	△ 273,011,237	△ 246,025,496	△ 153,791,964	△ 210,846,791	△ 174,941,755
追加信託差損益金	175,736,734	169,498,584	166,192,504	159,471,250	158,407,331	154,791,891
(配当等相当額)	(491,459,681)	(478,380,888)	(472,541,252)	(460,636,239)	(460,254,206)	(452,836,462)
(売買損益相当額)	(△ 315,722,947)	(△ 308,882,304)	(△ 306,348,748)	(△ 301,164,989)	(△ 301,846,875)	(△ 298,044,571)
分配準備積立金	937,180,359	909,736,932	896,490,423	867,446,835	866,928,540	851,437,743
繰越損益金	△ 1,460,221,091	△ 1,352,246,753	△ 1,308,708,423	△ 1,180,710,049	△ 1,236,182,662	△ 1,181,171,389

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	15,894,473円	16,531,017円	15,983,872円	16,324,772円	17,344,397円	15,566,879円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	491,459,681	478,380,888	472,541,252	460,636,239	460,254,206	452,836,462
(d) 分配準備積立金	935,786,721	907,270,405	894,356,028	864,527,756	862,940,484	848,971,838
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,443,140,875	1,402,182,310	1,382,881,152	1,341,488,767	1,340,539,087	1,317,375,179
(f) 分配金	14,500,835	14,064,490	13,849,477	13,405,693	13,356,341	13,100,974
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,428,640,040	1,388,117,820	1,369,031,675	1,328,083,074	1,327,182,746	1,304,274,205
(h) 受益権総口数	2,416,805,978□	2,344,081,721□	2,308,246,272□	2,234,282,326□	2,226,056,875□	2,183,495,804□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
		60円	60円	60円	60円	60円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			T O P I X		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
66期末(2019年1月8日)	3,131	70	△ 7.6	13,922	△ 6.7	—	98.6	3,689
67期末(2019年2月8日)	3,276	70	6.9	14,442	3.7	—	99.0	3,837
68期末(2019年3月8日)	3,283	40	1.4	14,743	2.1	0.0	98.5	3,805
69期末(2019年4月8日)	3,475	40	7.1	14,965	1.5	—	98.8	3,794
70期末(2019年5月8日)	3,278	40	△ 4.5	14,726	△ 1.6	—	99.3	3,497
71期末(2019年6月10日)	3,093	40	△ 4.4	14,105	△ 4.2	—	98.6	3,237
72期末(2019年7月8日)	3,303	40	8.1	14,659	3.9	—	98.6	3,403
73期末(2019年8月8日)	2,972	40	△ 8.8	13,806	△ 5.8	—	98.5	3,005
74期末(2019年9月9日)	3,056	40	4.2	14,149	2.5	—	98.7	3,014
75期末(2019年10月8日)	3,044	40	0.9	14,477	2.3	—	98.4	2,826
76期末(2019年11月8日)	3,373	40	12.1	15,631	8.0	—	96.9	3,047
77期末(2019年12月9日)	3,324	40	△ 0.3	15,771	0.9	—	97.6	2,900
78期末(2020年1月8日)	3,332	40	1.4	15,879	0.7	—	97.4	2,848
79期末(2020年2月10日)	3,326	40	1.0	15,944	0.4	—	99.4	2,824
80期末(2020年3月9日)	2,619	40	△ 20.1	13,544	△ 15.0	—	99.7	2,188
81期末(2020年4月8日)	2,302	40	△ 10.6	12,916	△ 4.6	—	98.2	1,894
82期末(2020年5月8日)	2,227	40	△ 1.5	13,133	1.7	—	99.4	1,835
83期末(2020年6月8日)	2,668	40	21.6	14,842	13.0	—	99.1	2,201
84期末(2020年7月8日)	2,514	40	△ 4.3	14,467	△ 2.5	—	98.7	2,035
85期末(2020年8月11日)	2,333	40	△ 5.6	14,237	△ 1.6	—	98.1	1,863
86期末(2020年9月8日)	2,414	40	5.2	14,817	4.1	—	98.0	1,887
87期末(2020年10月8日)	2,336	40	△ 1.6	15,155	2.3	—	98.0	1,797
88期末(2020年11月9日)	2,250	40	△ 2.0	15,266	0.7	—	98.1	1,713
89期末(2020年12月8日)	2,405	40	8.7	16,207	6.2	—	98.3	1,807
90期末(2021年1月8日)	2,515	40	6.2	16,811	3.7	—	98.2	1,878
91期末(2021年2月8日)	2,596	40	4.8	17,406	3.5	—	98.6	1,907
92期末(2021年3月8日)	2,531	40	△ 1.0	17,454	0.3	—	98.1	1,840
93期末(2021年4月8日)	2,572	40	3.2	18,110	3.8	—	98.0	1,810
94期末(2021年5月10日)	2,525	40	△ 0.3	17,793	△ 1.7	—	98.1	1,748
95期末(2021年6月8日)	2,559	40	2.9	18,049	1.4	—	98.6	1,740

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) T O P I Xは、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。また、基準価額への反映を考慮して、1営業日前の日付の終値を採用しています。

(注3) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

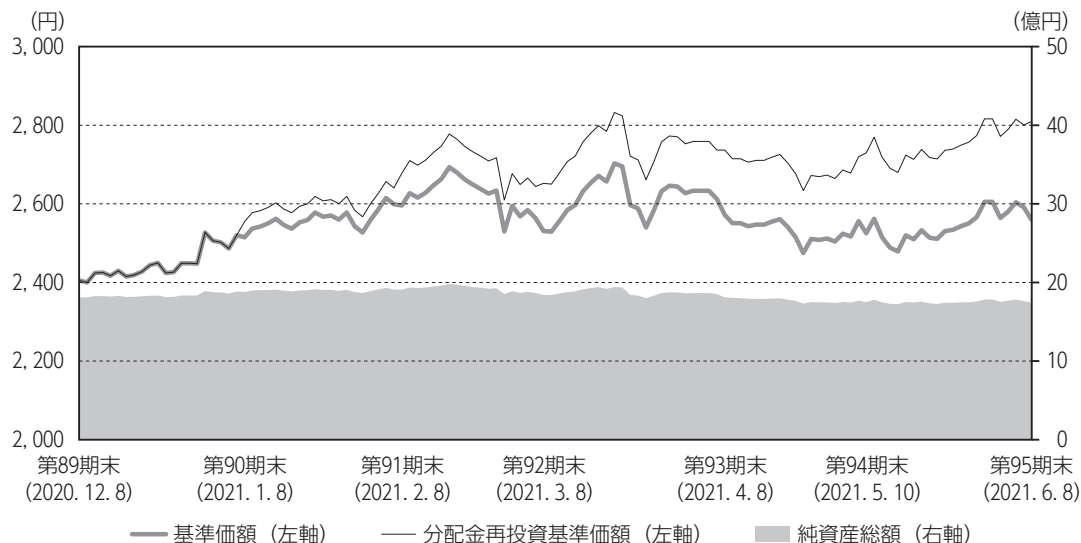
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第90期首：2,405円

第95期末：2,559円（既払分配金240円）

騰落率：16.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略による運用と為替取引の結果、基準価額は上昇しました。株式ポートフォリオ（配当込み）が上昇したことがプラス要因となったものの、オプション取引についてはマイナス要因となりました。為替取引（日本円売り／選定通貨（※）買い）は、選定通貨が対円で上昇（円安）したことやプレミアム（金利差相当分の収益）はプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		T O P I X		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第90期	(期首) 2020年12月 8日	円 2,405	% —	16,207	% —	% —	% 98.3
	12月末	2,527	5.1	16,745	3.3	—	98.9
	(期末) 2021年 1月 8日	2,555	6.2	16,811	3.7	—	98.2
第91期	(期首) 2021年 1月 8日	2,515	—	16,811	—	—	98.2
	1月末	2,543	1.1	16,926	0.7	—	99.4
	(期末) 2021年 2月 8日	2,636	4.8	17,406	3.5	—	98.6
第92期	(期首) 2021年 2月 8日	2,596	—	17,406	—	—	98.6
	2月末	2,634	1.5	17,730	1.9	—	99.1
	(期末) 2021年 3月 8日	2,571	△ 1.0	17,454	0.3	—	98.1
第93期	(期首) 2021年 3月 8日	2,531	—	17,454	—	—	98.1
	3月末	2,644	4.5	18,206	4.3	—	98.1
	(期末) 2021年 4月 8日	2,612	3.2	18,110	3.8	—	98.0
第94期	(期首) 2021年 4月 8日	2,572	—	18,110	—	—	98.0
	4月末	2,524	△ 1.9	17,572	△ 3.0	—	99.4
	(期末) 2021年 5月10日	2,565	△ 0.3	17,793	△ 1.7	—	98.1
第95期	(期首) 2021年 5月10日	2,525	—	17,793	—	—	98.1
	5月末	2,605	3.2	17,926	0.7	—	99.3
	(期末) 2021年 6月 8日	2,599	2.9	18,049	1.4	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2020.12.9～2021.6.8）

国内株式市況

国内株式市場は上昇しました。

国内株式市況は、当作成期首から2021年3月にかけて、米国の追加経済対策や世界的な新型コロナウイルスワクチンの普及、経済正常化期待などを受けて上昇しました。しかし4月は、国内でのウイルス感染再拡大から「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言の発令が行われ、株式市場は下落しました。5月半ばには、国内でのワクチン普及の遅れや米国のインフレ懸念から下落する局面もあったものの、その後はワクチン接種加速への期待感やインフレ懸念の後退を受けて上昇しました。

為替相場

選定通貨は対円でおおむね上昇しました。

新型コロナウイルスに対する懸念が後退したことや、米国の追加経済対策への期待が高まったことなどから、市場のリスク選好度が強まり、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。一方で、トルコ・リラは中央銀行総裁の解任などが懸念され、対円で下落（円高）しました。

当作成期においての選定通貨の値動きは、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル、ルーマニア・レイ、中国・人民元、南アフリカ・ランドは対円で上昇しました。一方で、トルコ・リラは対円で下落しました。

短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に日本円の短期金利をおおむね上回って推移しました。日本の短期金利は、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持し、低位で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、クロッキーファンド (通貨セレクト・クラス) とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド (通貨セレクト・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※クロッキーファンド (通貨セレクト・クラス)：オージェンタム・トラストクロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド (通貨セレクト・クラス)

■クロッキーファンド (通貨セレクト・クラス)

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。

- ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
- ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
- ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
- ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

2. 為替取引を活用します。

- ・日本円売り／選定通貨買いの為替取引を行います。
- ・大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

[通貨の運用方針]

- ・原則として、「FTSE世界国債インデックス」および「JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット ブロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。

- ・選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- ・選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2020.12.9～2021.6.8）

■当ファンド

当ファンドは、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）

株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略のうち、クロッキーモデルによる銘柄選択効果がマイナスに働き、株式ポートフォリオ（配当除く）はTOPIX指数（配当除く）を下回るパフォーマンスとなりました。一方、オプション取引についてはマイナス要因となりました。

選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー（利息）収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、円建ての資産に対して、日本円売り／選定通貨買いの為替取引を行いました。また、取引対象通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

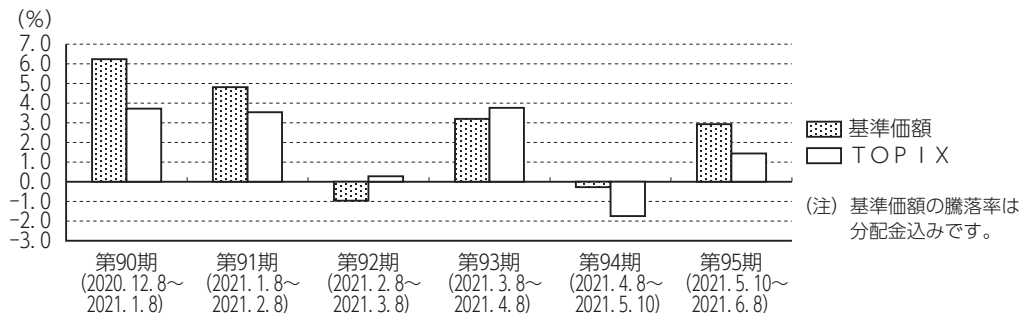
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2020年12月9日 ～2021年1月8日	2021年1月9日 ～2021年2月8日	2021年2月9日 ～2021年3月8日	2021年3月9日 ～2021年4月8日	2021年4月9日 ～2021年5月10日	2021年5月11日 ～2021年6月8日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	1.57	1.52	1.56	1.53	1.56	1.54
当期の収益 (円)	31	31	33	34	38	35
当期の収益以外 (円)	8	8	6	5	1	4
翌期繰越分配対象額 (円)	677	669	662	657	656	651

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 31.32円	✓ 31.59円	✓ 33.73円	✓ 34.88円	✓ 38.47円	✓ 35.22円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	323.61	325.02	326.58	328.26	330.13	331.82
(d) 分配準備積立金	✓ 362.59	✓ 352.51	✓ 342.57	✓ 334.65	✓ 327.69	✓ 324.50
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	717.54	709.14	702.89	697.80	696.31	691.55
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	677.54	669.14	662.89	657.80	656.31	651.55

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■クロッキーファンド（通貨セレクト・クラス）

1. 主として、担保付スワップ取引を通じて、割安と判断される日本の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築します。
 - ・投資対象銘柄は「TOP 1 X 100」構成銘柄から金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄とします。
 - ・ドイツ銀行グループが独自に開発した株式分析手法「クロッキーモデル」を用い、会計データを重点分析し、割安と判断される30銘柄を選定します。
 - ・選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。また、銘柄の見直しは約1カ月ごとに行います。
 - ・個別銘柄ごとに、コール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。
2. 為替取引を活用します。
 - ・日本円売り／選定通貨買いの為替取引を行います。
 - ・大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

[通貨の運用方針]

- ・原則として、「F T S E 世界国債インデックス」および「J P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット ブロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。

- ・選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- ・選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第90期～第95期 (2020.12.9～2021.6.8)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	19円	0.739%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2,555円です。
（投 信 会 社）	(7)	(0.262)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(12)	(0.465)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	19	0.741	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

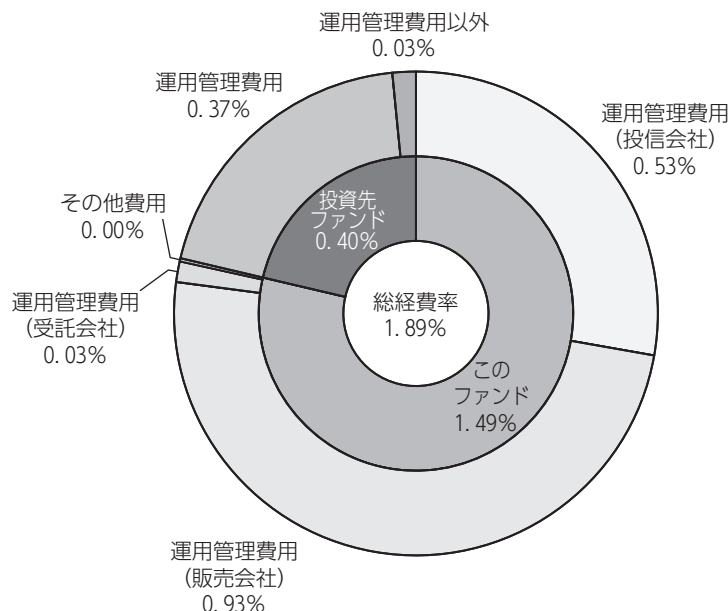
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.89%
①このファンドの費用の比率	1.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.37%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年12月9日から2021年6月8日まで)

決算期	第 90 期 ~ 第 95 期			
	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	千口 6,053.137845	千円 155,340	千口 13,958.707385	千円 362,500

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年12月9日から2021年6月8日まで)

第 90 期 ~				第 95 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				CROCI JAPAN STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS (ケイマン諸島)	13,958.707385	362,500	25

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 95 期 末		
	口 数	評価額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) CROCI JAPAN STRATEGY FUND CURRENCY SELECTION CLASS	千口 65,108.027472	千円 1,717,224	% 98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第89期末	第 95 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 1,993	千口 1,993	千円 1,995

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年6月8日現在

項 目	第 95 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,717,224	% 96.4
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1,995	0.1
コール・ローン等、その他	62,453	3.5
投資信託財産総額	1,781,673	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年1月8日)、(2021年2月8日)、(2021年3月8日)、(2021年4月8日)、(2021年5月10日)、(2021年6月8日)現在

項目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
(A) 資産	1,914,229,462円	1,949,546,457円	1,873,391,148円	1,896,376,875円	1,783,471,542円	1,781,673,563円
コール・ローン等	68,123,146	66,452,998	66,149,921	36,270,857	65,816,243	62,453,725
投資信託受益証券 (評価額)	1,844,110,503	1,881,097,646	1,805,245,414	1,774,110,404	1,715,659,685	1,717,224,224
ダイワ・マネーストック・マザーファンド (評価額)	1,995,813	1,995,813	1,995,813	1,995,614	1,995,614	1,995,614
未収入金	—	—	—	84,000,000	—	—
(B) 負債	36,062,292	42,255,430	32,817,773	85,671,736	35,063,471	40,894,775
未払金	—	—	—	42,000,000	—	—
未払収益分配金	29,876,882	29,389,858	29,090,969	28,158,656	27,698,157	27,208,485
未払解約金	3,841,171	10,436,612	1,489,966	13,085,974	4,987,752	11,536,364
未払信託報酬	2,331,351	2,402,787	2,198,511	2,375,565	2,313,230	2,074,211
その他未払費用	12,888	26,173	38,327	51,541	64,332	75,715
(C) 純資産総額 (A - B)	1,878,167,170	1,907,291,027	1,840,573,375	1,810,705,139	1,748,408,071	1,740,778,788
元本	7,469,220,590	7,347,464,649	7,272,742,332	7,039,664,205	6,924,539,258	6,802,121,267
次期繰越損益金	△ 5,591,053,420	△ 5,440,173,622	△ 5,432,168,957	△ 5,228,959,066	△ 5,176,131,187	△ 5,061,342,479
(D) 受益権総口数	7,469,220,590口	7,347,464,649口	7,272,742,332口	7,039,664,205口	6,924,539,258口	6,802,121,267口
1万口当り基準価額 (C/D)	2,515円	2,596円	2,531円	2,572円	2,525円	2,559円

*第89期末における元本額は7,517,049,211円、当作成期間(第90期~第95期)中における追加設定元本額は207,544,785円、同解約元本額は922,472,729円です。

*第95期末の計算口数当りの純資産額は2,559円です。

*第95期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,061,342,479円です。

■損益の状況

第90期 自 2020年12月9日 至 2021年1月8日 第92期 自 2021年2月9日 至 2021年3月8日 第94期 自 2021年4月9日 至 2021年5月10日
 第91期 自 2021年1月9日 至 2021年2月8日 第93期 自 2021年3月9日 至 2021年4月8日 第95期 自 2021年5月11日 至 2021年6月8日

項目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配当等収益	23,887,375円	23,844,592円	26,746,113円	25,586,785円	28,971,054円	24,950,627円
受取配当金	23,888,124	23,845,021	26,746,494	25,587,354	28,971,430	24,951,151
受取利息	26	6	3	9	—	1
支払利息	△ 775	△ 435	△ 384	△ 578	△ 376	△ 525
(B) 有価証券売買損益	90,372,291	67,693,313	△ 42,754,848	34,016,981	△ 31,588,273	27,603,100
売買益	90,615,183	68,113,356	462,920	36,801,853	1,212,595	27,734,310
売買損	△ 242,892	△ 420,043	△ 43,217,768	△ 2,784,872	△ 32,800,868	△ 131,210
(C) 信託報酬等	△ 2,344,239	△ 2,416,072	△ 2,210,665	△ 2,388,779	△ 2,326,021	△ 2,085,677
(D) 当期損益金 (A + B + C)	111,915,427	89,121,833	△ 18,219,400	57,214,987	△ 4,943,240	50,468,050
(E) 前期繰越損益金	△ 4,709,843,267	△ 4,534,291,990	△ 4,409,281,398	△ 4,292,469,536	△ 4,170,141,071	△ 4,107,422,284
(F) 追加信託差損益金	△ 963,248,698	△ 965,613,607	△ 975,577,190	△ 965,545,861	△ 973,348,719	△ 977,179,760
(配当等相当額)	(241,717,403)	(238,812,428)	(237,517,569)	(231,085,216)	(228,606,019)	(225,710,219)
(売買損益相当額)	(△ 1,204,966,101)	(△ 1,204,426,035)	(△ 1,213,094,759)	(△ 1,196,631,077)	(△ 1,201,954,738)	(△ 1,202,889,979)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 5,561,176,538	△ 5,410,783,764	△ 5,403,077,988	△ 5,200,800,410	△ 5,148,433,030	△ 5,034,133,994
(H) 収益分配金	△ 29,876,882	△ 29,389,858	△ 29,090,969	△ 28,158,656	△ 27,698,157	△ 27,208,485
次期繰越損益金 (G + H)	△ 5,591,053,420	△ 5,440,173,622	△ 5,432,168,957	△ 5,228,959,066	△ 5,176,131,187	△ 5,061,342,479
追加信託差損益金	△ 963,248,698	△ 965,613,607	△ 975,577,190	△ 965,545,861	△ 973,348,719	△ 977,179,760
(配当等相当額)	(241,717,403)	(238,812,428)	(237,517,569)	(231,085,216)	(228,606,019)	(225,710,219)
(売買損益相当額)	(△ 1,204,966,101)	(△ 1,204,426,035)	(△ 1,213,094,759)	(△ 1,196,631,077)	(△ 1,201,954,738)	(△ 1,202,889,979)
分配準備積立金	264,352,564	252,836,190	244,592,057	231,987,098	225,858,688	217,485,822
繰越損益金	△ 4,892,157,286	△ 4,727,396,205	△ 4,701,183,824	△ 4,495,400,303	△ 4,428,641,156	△ 4,301,648,541

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(a) 経費控除後の配当等収益	23,397,147円	23,215,182円	24,535,420円	24,561,254円	26,645,007円	23,960,304円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	241,717,403	238,812,428	237,517,569	231,085,216	228,606,019	225,710,219
(d) 分配準備積立金	270,832,299	259,010,866	249,147,606	235,584,500	226,911,838	220,734,003
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	535,946,849	521,038,476	511,200,595	491,230,970	482,162,864	470,404,526
(f) 分配金	29,876,882	29,389,858	29,090,969	28,158,656	27,698,157	27,208,485
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	506,069,967	491,648,618	482,109,626	463,072,314	454,464,707	443,196,041
(h) 受益権総口数	7,469,220,590口	7,347,464,649口	7,272,742,332口	7,039,664,205口	6,924,539,258口	6,802,121,267口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
		40円	40円	40円	40円	40円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド
 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／
 米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－ 日本円・コース（毎月分配型）／豪ドル・コース（毎月分配型）／ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）／米ドル・コース（毎月分配型）／通貨セレクト・コース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキー・ジャパン・ストラテジー・ファンド 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・リアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2021年6月8日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（日本円建て）

貸借対照表
 2020年2月29日

資産	
投資資産の評価額（簿価 ¥11,240,424,000）	¥ 9,297,349,600
現金および現金同等物	30,213,068
資産合計	9,327,562,668
負債	
スワップ取引による評価損	320,123,426
未払：	
終了したスワップ取引	23,905,351
専門家報酬	10,279,212
管理会社報酬	4,044,090
運用会社報酬	1,332,392
為替投資アドバイザー報酬	1,077,428
名義書換代理人報酬	235,724
登録料	81,288
受託会社報酬	10,280
負債合計	361,089,191
純資産	¥ 8,966,473,477
豪ドル・クラス	¥ 315,764,957
ブラジル・リアル・クラス	1,897,507,925
日本円・クラス	2,037,817,933
通貨セレクト・クラス	2,311,346,657
米ドル・クラス	2,404,036,005
	¥ 8,966,473,477

発行済み受益証券

豪ドル・クラス	7,037,313
ブラジル・リアル・クラス	67,778,394
日本円・クラス	31,720,472
通貨セレクト・クラス	82,222,893
米ドル・クラス	35,379,308

受益証券1口当り純資産額

豪ドル・クラス	¥	44.870
ブラジル・リアル・クラス	¥	27.996
日本円・クラス	¥	64.243
通貨セレクト・クラス	¥	28.111
米ドル・クラス	¥	67.950

損益計算書

2020年2月29日に終了した会計年度

費用

運用会社報酬	¥	19,411,767
管理会社報酬		10,784,579
専門家報酬		5,321,612
為替投資アドバイザー報酬		4,720,955
受託会社報酬		1,423,645
名義書換代理人報酬		1,210,531
支払利息		191,063
登録料		81,288
費用合計		<u>43,145,440</u>

投資損失

(43,145,440)

実現損益および評価損益：

実現損益の内訳：

証券投資	280,622,304
スワップ取引	(231,335,961)
実現損益	<u>49,286,343</u>

評価損益の変動の内訳：

証券投資	(208,141,800)
スワップ取引	(382,275,721)
外国為替先渡取引	(5,725)
評価損益の変動	<u>(590,423,246)</u>

実現損益および評価損益の変動

(541,136,903)

運用による純資産の増減

¥ (584,282,343)

ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－

投資明細表
2020年2月29日

投資資産の明細	受益証券口数	純資産に占める割合	評価額
CROCI Japan Covered Call Strategy* - トータル・リターン・スワップ	137,210,000	103.69%	¥ 9,297,349,600
ストラクチャード商品合計（簿価 ¥11,240,424,000）			9,297,349,600
投資資産合計（簿価 ¥11,240,424,000）		103.69%	¥ 9,297,349,600

*当ファンドは Deutsche Bank A.G.、ロンドン支店との間で締結したファンドの残高に評価額が運動するように出資されたパフォーマンス・スワップを通して CROCI Japan Covered Call Strategy に対するエクスポージャーを有しています。

豪ドル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	評価損益	純資産に占める割合
AUD	Deutsche Bank A.G.	4,776,983	2020/3/31	J P Y	(346,003,324)	¥ (11,255,626)	(0.00%)

ブラジル・リアル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	評価損益	純資産に占める割合
BRL	Deutsche Bank A.G.	85,492,550	2020/3/31	J P Y	(2,180,075,003)	¥ (137,284,801)	(0.02%)

通貨セレクト・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	評価損益	純資産に占める割合
IDR	Deutsche Bank A.G.	51,453,657,726	2020/3/31	J P Y	(405,777,942)	¥ (23,769,914)	(0.00%)
INR	Deutsche Bank A.G.	253,107,389	2020/3/31	J P Y	(390,239,710)	(15,735,528)	(0.00%)
MXN	Deutsche Bank A.G.	75,229,502	2020/3/31	J P Y	(433,361,034)	(24,496,419)	(0.01%)
RON	Deutsche Bank A.G.	14,404,559	2020/3/31	J P Y	(359,608,512)	(4,861,479)	(0.00%)
RUB	Deutsche Bank A.G.	237,944,291	2020/3/31	J P Y	(403,098,157)	(22,597,702)	(0.00%)
TRY	Deutsche Bank A.G.	29,472,140	2020/3/31	J P Y	(526,345,440)	(22,261,035)	(0.00%)
合計						¥ (113,722,077)	(0.01%)

米ドル・クラス外国為替スワップ取引

買い	取引相手	想定元本	満期日	売り	想定元本	評価損益	純資産に占める割合
USD	Deutsche Bank A.G.	23,774,328	2020/3/31	J P Y	(2,624,914,082)	¥ (57,860,922)	(0.01%)

語集：

AUD	豪ドル
BRL	ブラジル・リアル
IDR	インドネシア・ルピア
INR	インド・ルピー
MXN	メキシコ・ペソ
RON	ルーマニア・レイ
RUB	ロシア・ルーブル
TRY	トルコ・リラ
USD	米ドル

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ日本株ストラテジーα（通貨選択型）－ジャパン・トリプルリターンズ－）が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第95期の決算日（2021年6月8日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年12月9日～2021年6月8日現在における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2021年6月8日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第11期（決算日 2020年12月9日）

（作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日）

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

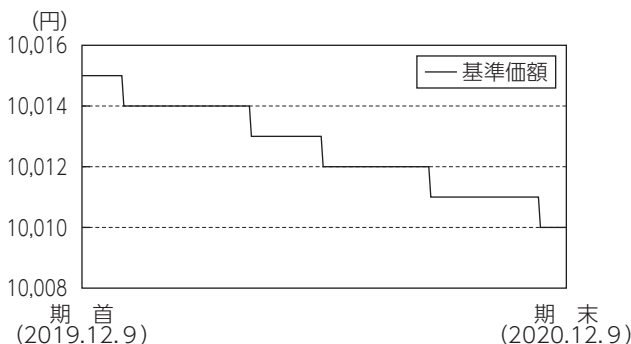
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2019年12月9日	円	%	%
	10,015	-	-
12月末	10,015	0.0	-
2020年1月末	10,014	△0.0	-
2月末	10,014	△0.0	-
3月末	10,014	△0.0	-
4月末	10,013	△0.0	-
5月末	10,013	△0.0	-
6月末	10,012	△0.0	-
7月末	10,012	△0.0	-
8月末	10,011	△0.0	-
9月末	10,011	△0.0	-
10月末	10,011	△0.0	-
11月末	10,010	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,010	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,015円 期末：10,010円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	88,460,615	100.0
投資信託財産総額	88,460,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,460,615,301円
コール・ローン等	88,460,615,301
(B) 負債	50,000,000
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	88,410,615,301
元本	88,319,921,795
次期繰越損益金	90,693,506
(D) 受益権総口数	88,319,921,795口
1万口当り基準価額(C/D)	10,010円

* 期首における元本額は103,532,314,258円、当作成期間中における追加設定元本額は103,255,612,211円、同解約元本額は118,468,004,674円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレニアセット・インド株式ファンド - インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック- (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 1,249,412,852円、iFreeレバレッジ N A S D A Q 100 11,006,295,149円、米国4資産リスク分散ファンド (年2回決算型) 689,912円、グリーンテック株式ファンド (資産成長型) 998,802円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック- (毎月決算/予想分配金提示型) 999円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス2,927,475,552円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス6,683,086,104円、ダイワ上場投信-T O P I Xレバレッジ (2倍) 指数1,085,050,377円、ダイワ上場投信-T O P I Xダブルインパース (-2倍) 指数1,226,094,880円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス25,058,858,800円、ダイワ上場投信-T O P I Xインパース (-1倍) 指数11,170,317,850円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス387,469,071円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス611,537,975円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス141,884,108円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,988,339,549円、ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用) 19,374,063,390円、低リスク型アロケーションファンド (金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L Tレレード-5,091,608円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ149,382,442円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ5,609,419円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 494,581円、ダイワU S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアセット・亜細亜株式ファンド9,958,176円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレニアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進

国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 34,974,173円
受取利息	1,075,374
支払利息	△ 36,049,547
(B) その他費用	△ 1,522,123
(C) 当期損益金(A+B)	△ 36,496,296
(D) 前期繰越損益金	156,051,230
(E) 解約差損益金	△161,476,434
(F) 追加信託差損益金	132,615,006
(G) 合計(C+D+E+F)	90,693,506
次期繰越損益金(G)	90,693,506

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。